

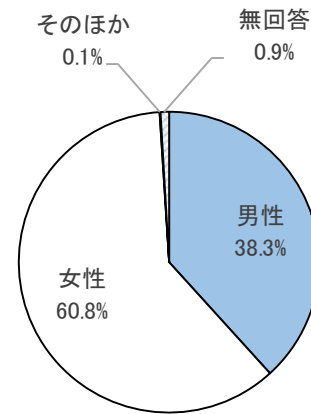
Ⅱ 若者調査

第1章 回答者属性（フェイス項目）の概要

性別 問61（F1）

■あなたの性別をお答えください。

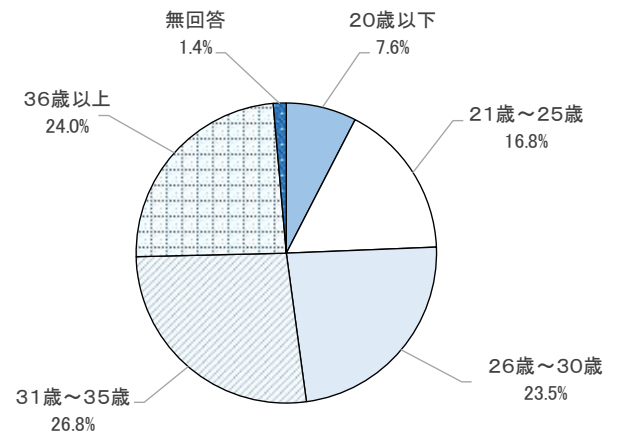
	回答数	構成比
男性	537	38.3%
女性	852	60.8%
そのほか	1	0.1%
無回答	12	0.9%
全体	1,402	100.0%



年齢 問62（F2）

■あなたの年齢をお答えください。

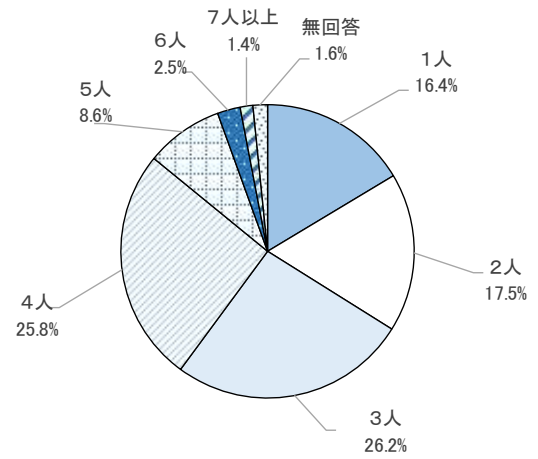
	回答数	構成比
20歳以下	106	7.6%
21歳～25歳	236	16.8%
26歳～30歳	329	23.5%
31歳～35歳	376	26.8%
36歳以上	336	24.0%
無回答	19	1.4%
全体	1,402	100.0%



同居人数 問 63 (F3)

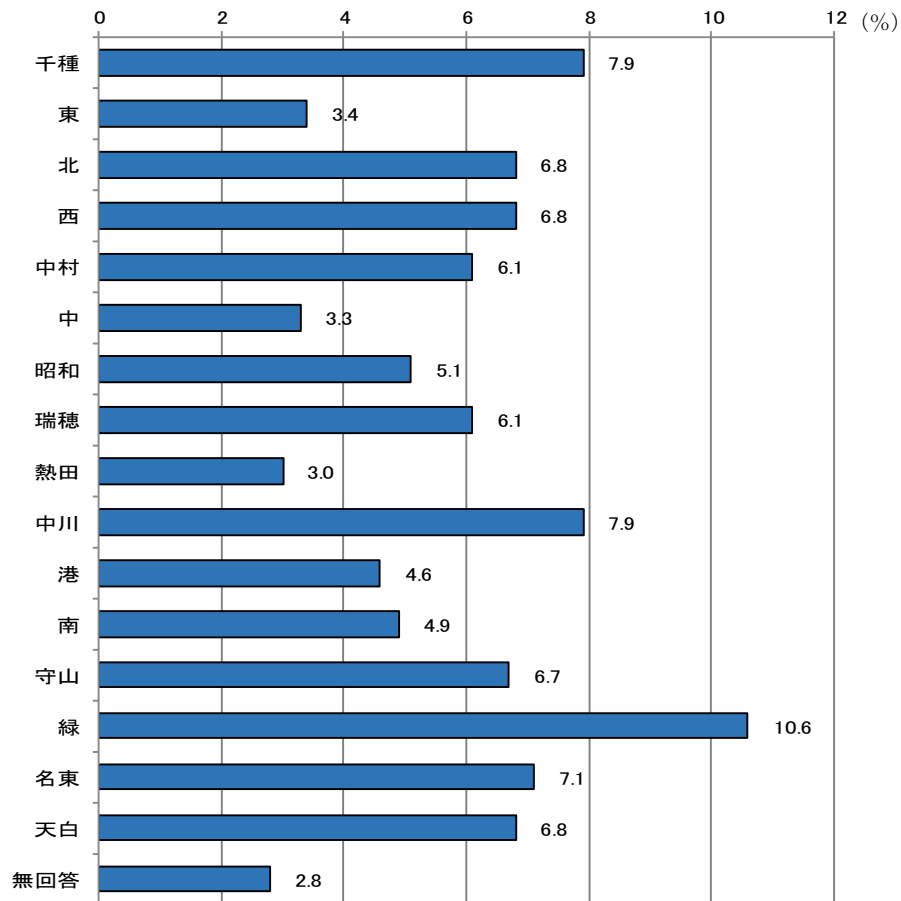
■現在、あなたといっしょにお住まいの方の人数は何人ですか。

	回答数	構成比
1人	230	16.4%
2人	246	17.5%
3人	367	26.2%
4人	362	25.8%
5人	120	8.6%
6人	35	2.5%
7人以上	19	1.4%
無回答	23	1.6%
全体	1,402	100.0%



居住区 問 66 (F4)

■現在、何区にお住まいですか。



回答数 全体=1,402

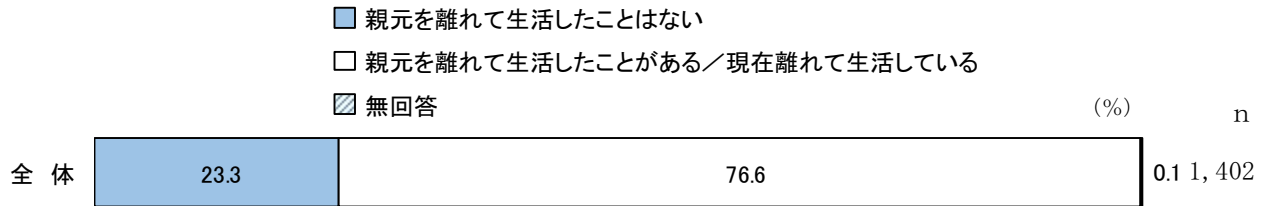
第2章 質問

～日常生活に関する質問～

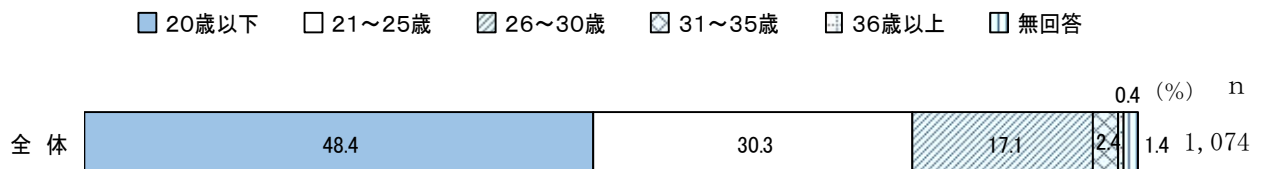
親元を離れての生活について 【問1】

■親元を離れて生活したことがありますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「親元を離れて生活したことがある／現在離れて生活している」が76.6%である。
- ◇ 親元を離れた年齢では、「20歳以下」が48.4%と最も多く、次いで「21歳～25歳」が30.3%となっている。



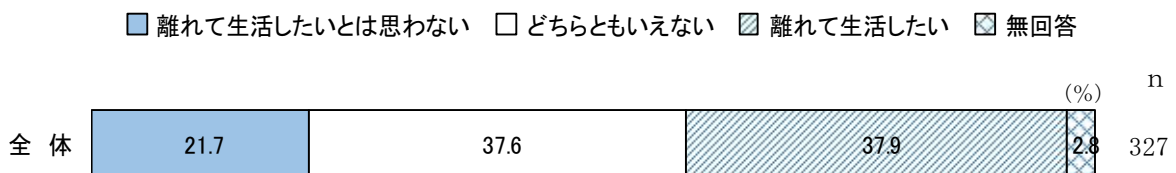
<親元を離れた年齢>



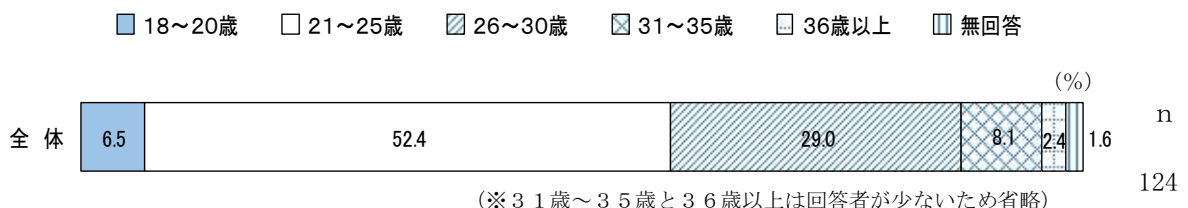
将来の親元を離れての生活について 【問2】

■将来、親元を離れて生活したいですか。(1つ)

- ◇ 全体では、「離れて生活したい」が37.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が37.6%、「離れて生活したいとは思わない」が21.7%である。



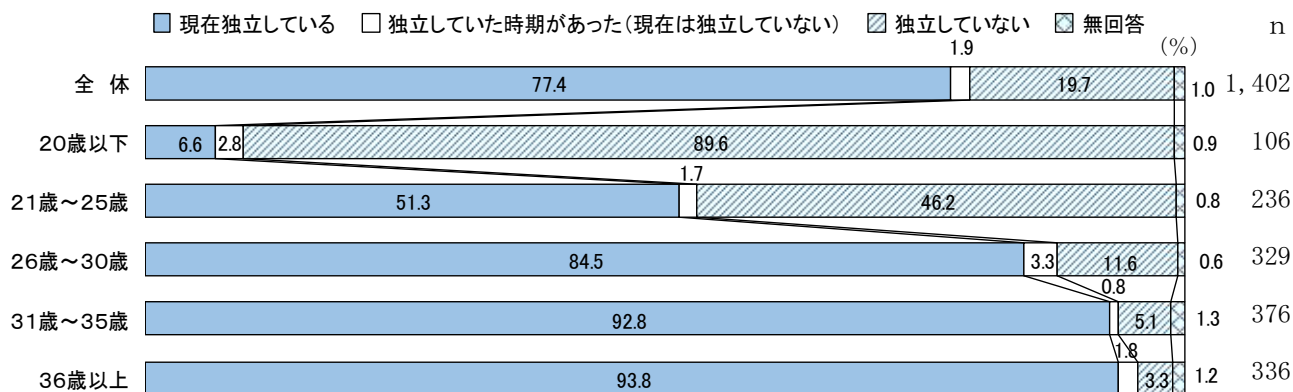
<親元を離れたい年齢>



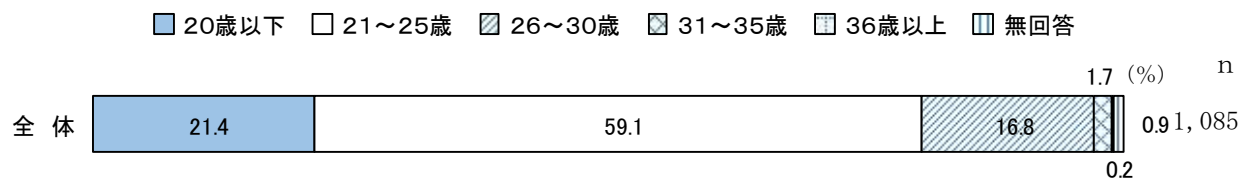
あなたの経済状況について 【問3】

■現在、あなたは親から経済的に独立していますか。(1つ)

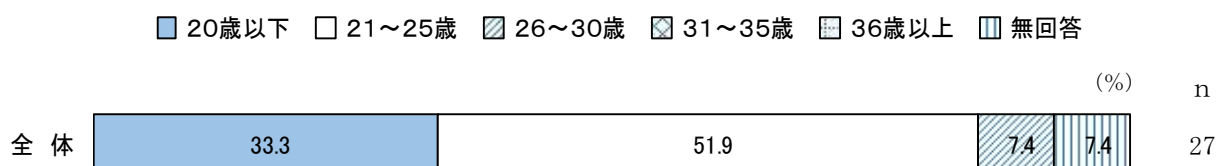
◇ 全体では、「現在独立している」が77.4%と最も多く、次いで「独立していない」が19.7%となっている。



「現在独立している」を選択した方
 <何歳の時から独立していたか>



「独立していた時期があった(現在は独立していない)」を選択した方
 <何歳の時に独立していたか>



(※31歳～35歳と36歳以上は回答者なし)

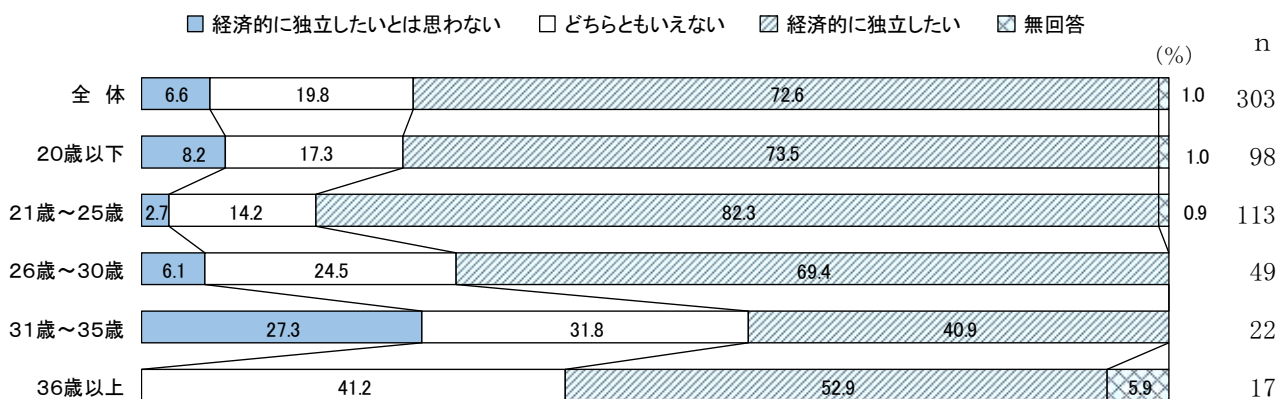
【前回調査との数値比較】

	現在独立している		
	平成25年	平成30年	変化量
全体	79.6	77.4	▲ 2.2

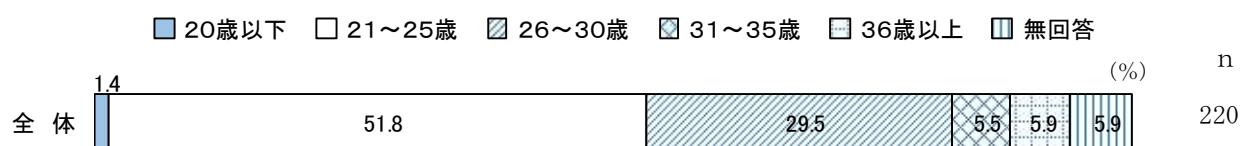
将来の独立について 【問4】

■ 将来、経済的に独立したいと思いますか。(1つ)

◇ 全体では、「経済的に独立したい」が72.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.8%、「経済的に独立したいとは思わない」が6.6%となっている。



<何歳ごろまでに独立したいか>



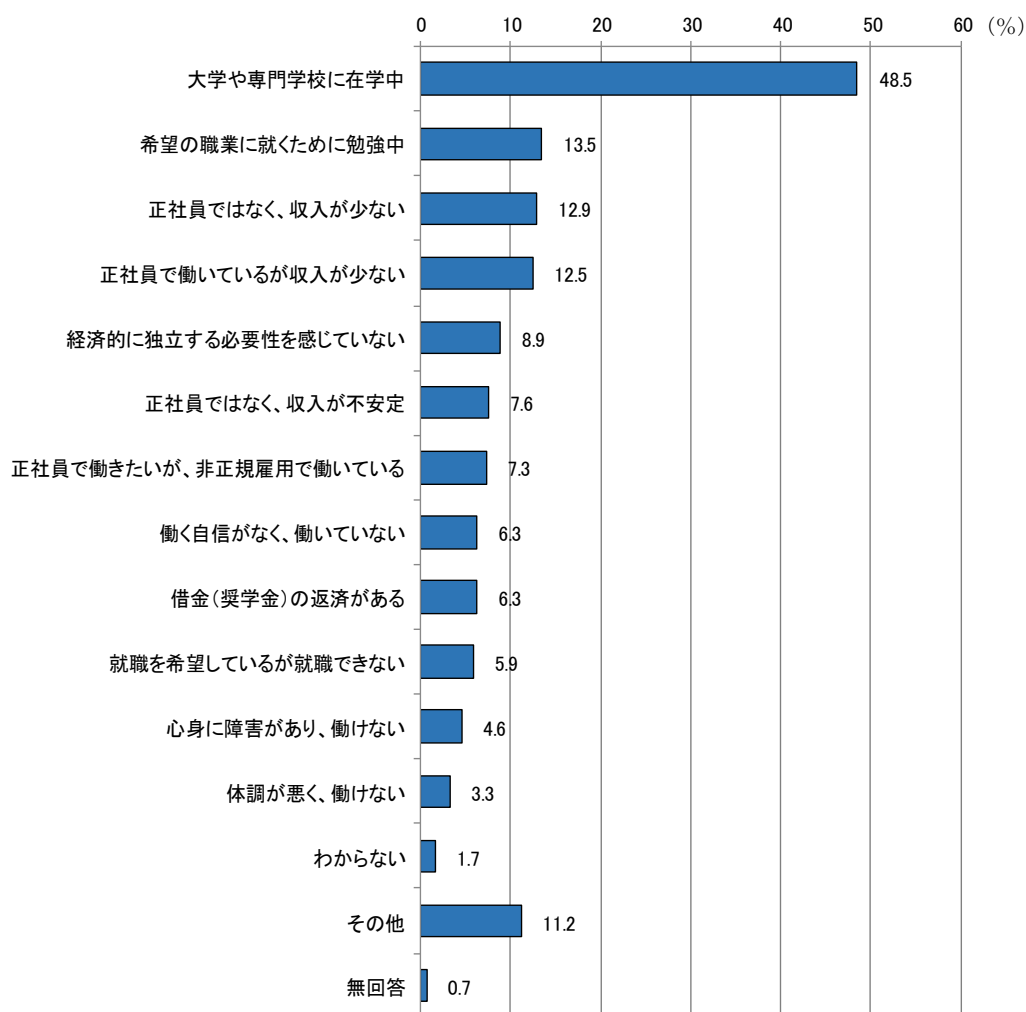
【前回調査との数値比較】

	経済的に独立したいとは思わない		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	3.4	6.6	3.2

経済的に独立していない理由について 【問5】

■現在、経済的に独立していない理由は何ですか。(複数回答)

◇ 「大学や専門学校に在学中」が48.5%と最も多い。



回答数 全体=458

【前回調査との数値比較】

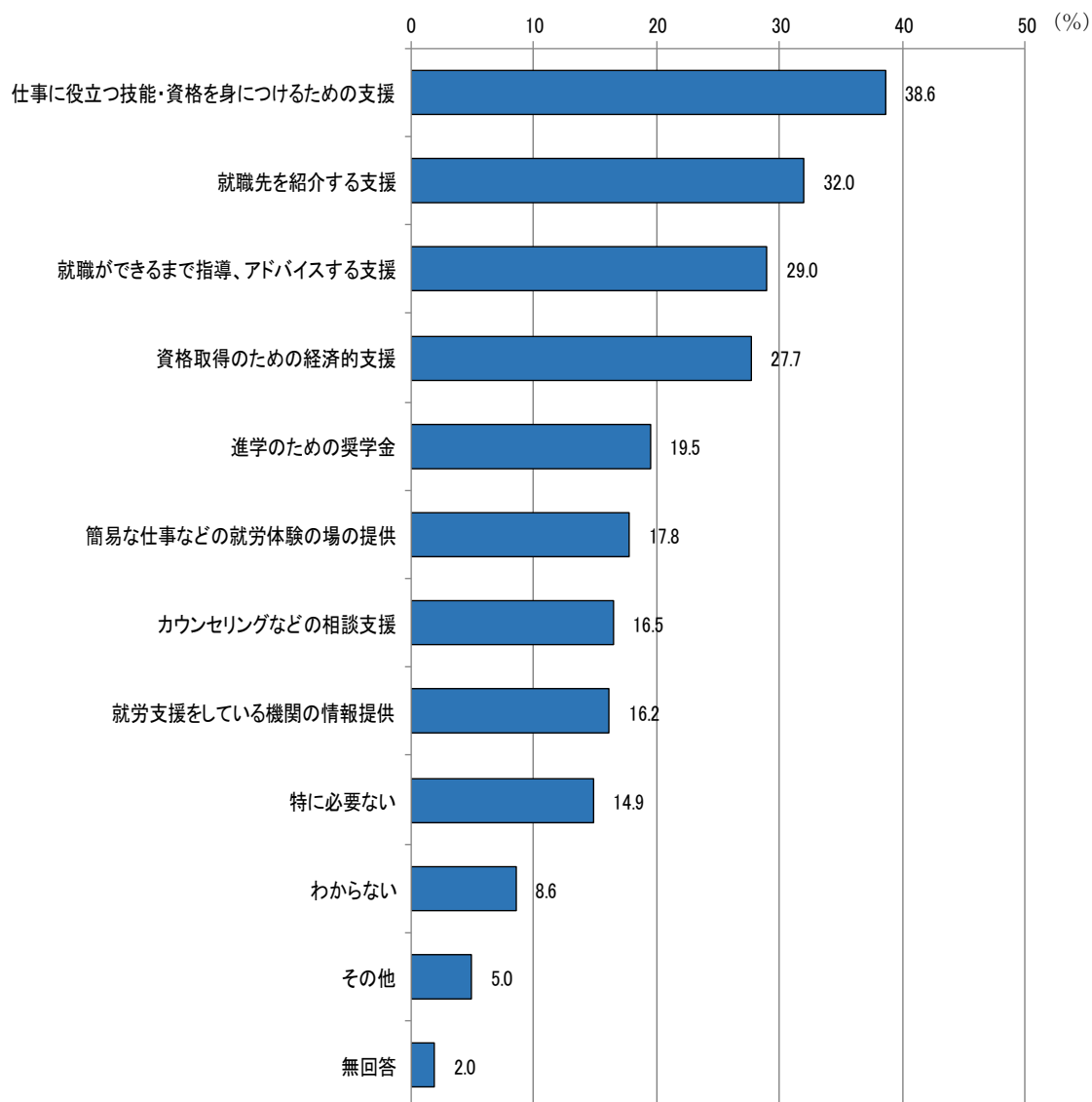
	就職を希望しているが就職できない		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	6.0	5.9	▲ 0.1

働く自信がなく、働いていない		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
5.1	6.3	1.2

経済的に独立するのに必要な支援について 【問6】

■ 経済的に独立するために、あなたが必要だと思う支援は何ですか。(複数回答)

◇ 「仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援」が38.6%と最も多い。



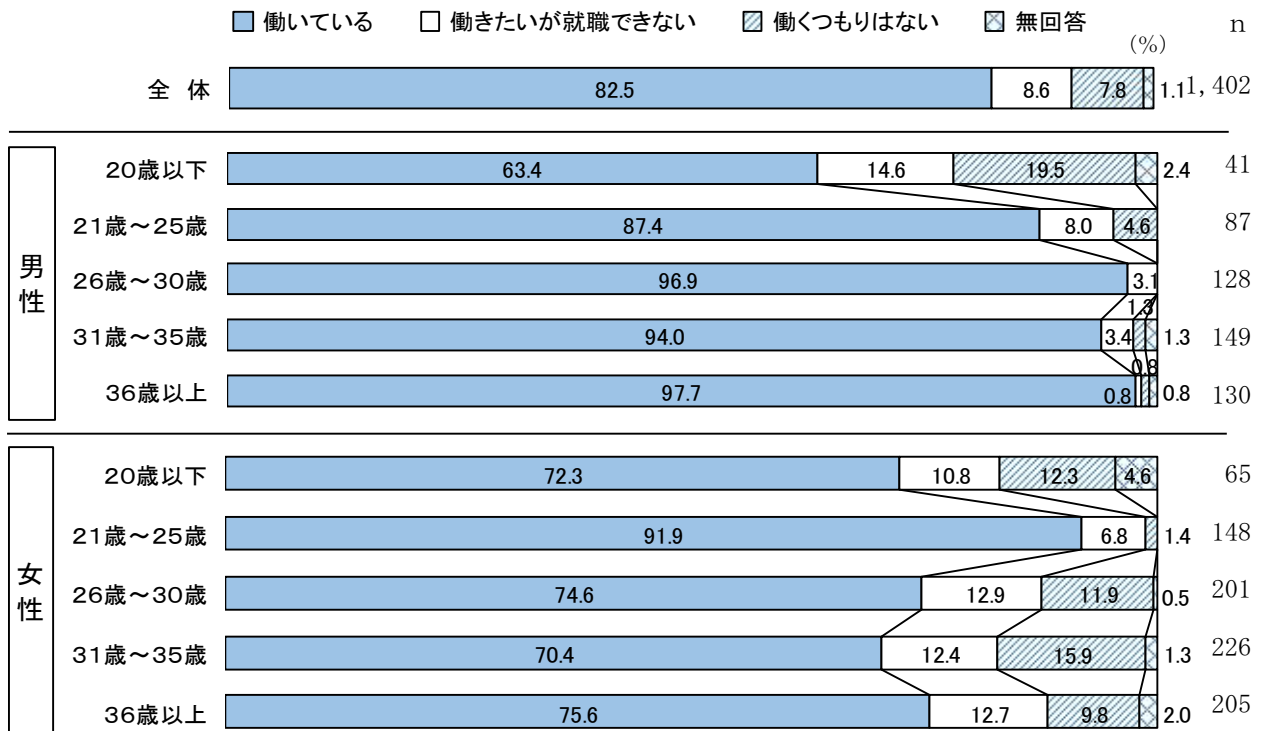
回答数 全体=690

～仕事に関する質問～

現在の就業状況について 【問7】

■現在働いていますか（アルバイト等も含む）。（1つ）

- ◇ 全体では、「働いている」が82.5%となっている。
- ◇ 男性の「働いている」と回答した割合では、「36歳以上」が97.7%と最も多い。
- ◇ 女性の「働いている」と回答した割合では、「21歳～25歳」が91.9%と最も多い。



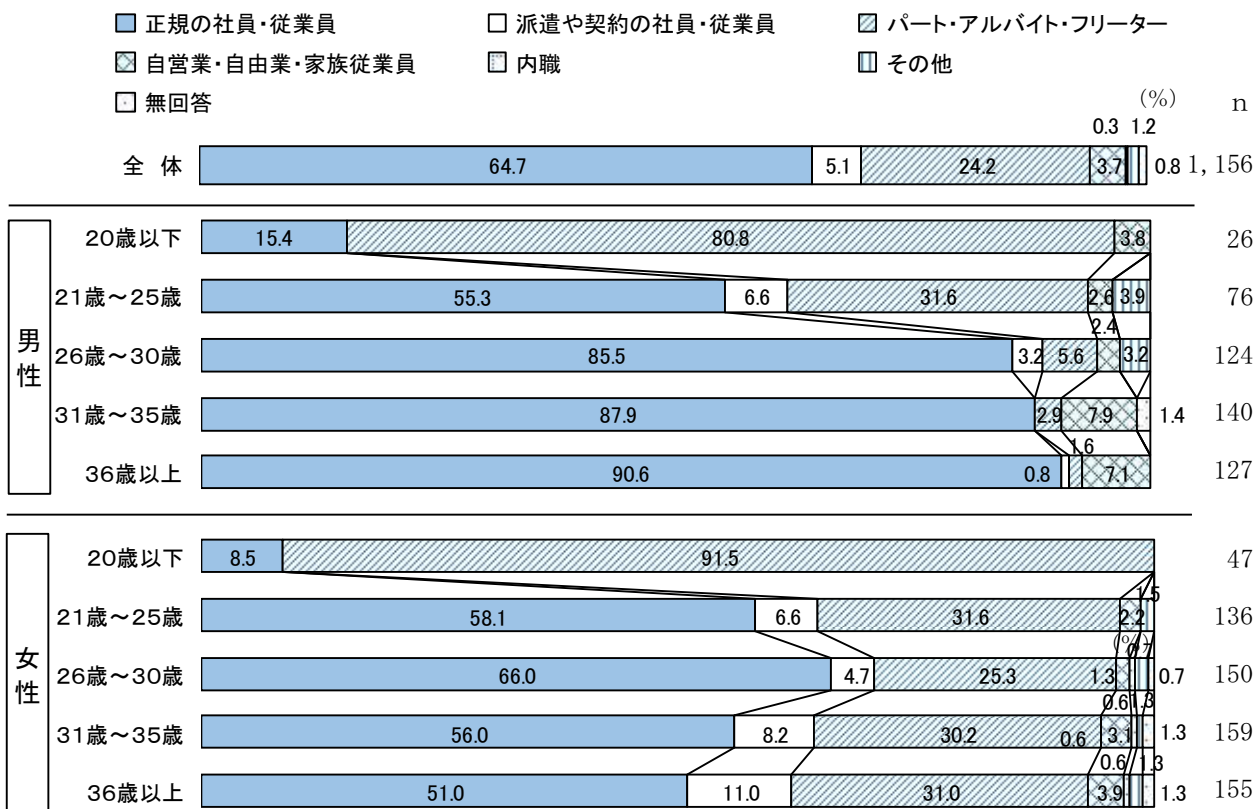
【前回調査との数値比較】

	働いている		
	平成25年	平成30年	変化量
全体	79.5	82.5	3.0

現在の雇用形態について 【問8】

■現在の働き方（雇用形態）は何ですか。（1つ）

◇ 全体では、「正規の社員・従業員」が64.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・フリーター」が24.2%となっている。



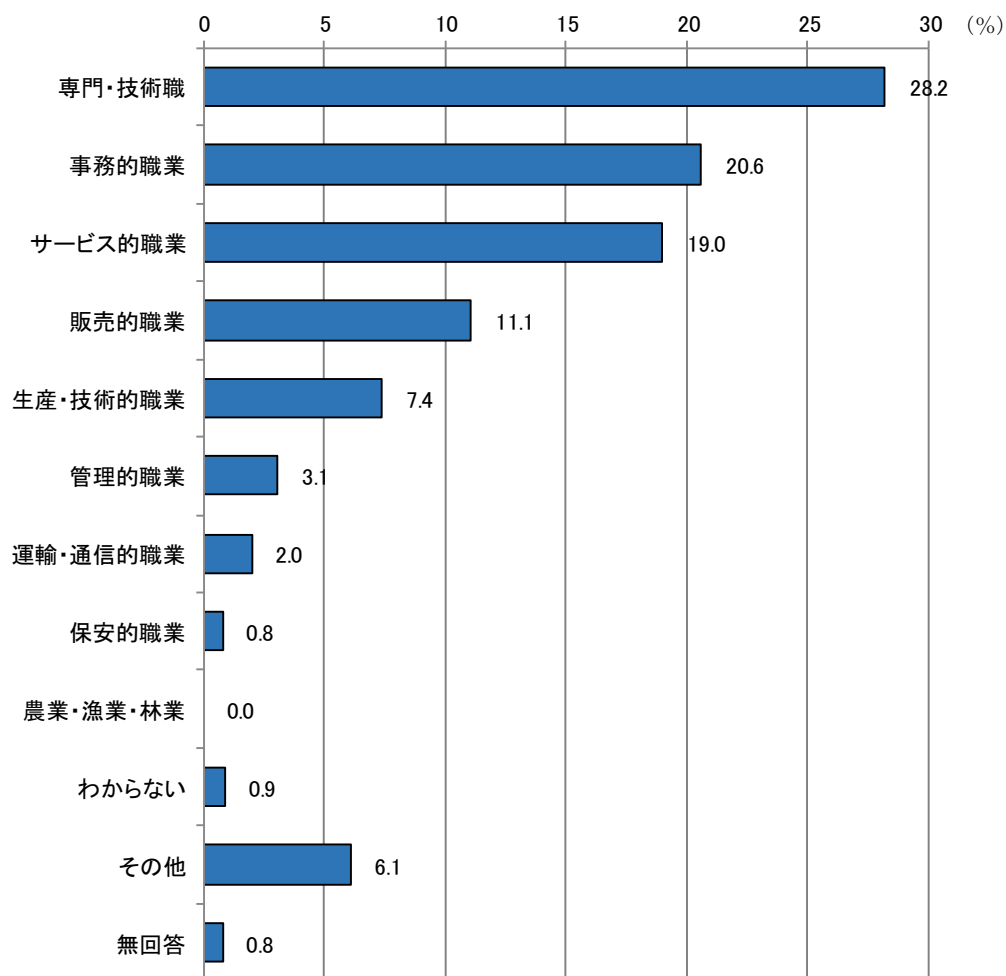
【前回調査との数値比較】

	正規の社員・従業員		
	平成25年	平成30年	変化量
全体	60.7	64.7	4.0

現在の職種について 【問9】

■現在の職種は何ですか。(1つ)

◇「専門・技術職」が28.2%と最も多く、次いで「事務的職業」が20.6%、「サービスの職業」が19.0%となっている。

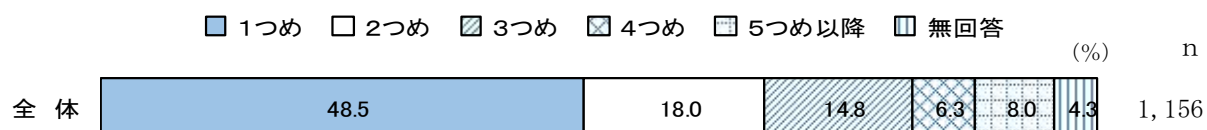


回答者数 全体=1,156

転職について 【問10】

■現在の仕事は、最後に学校を卒業した後、いくつめの仕事ですか。(1つ)

◇「1つめ」が48.5%と最も多く、次いで「2つめ」が18.0%、「3つめ」が14.8%となっている。

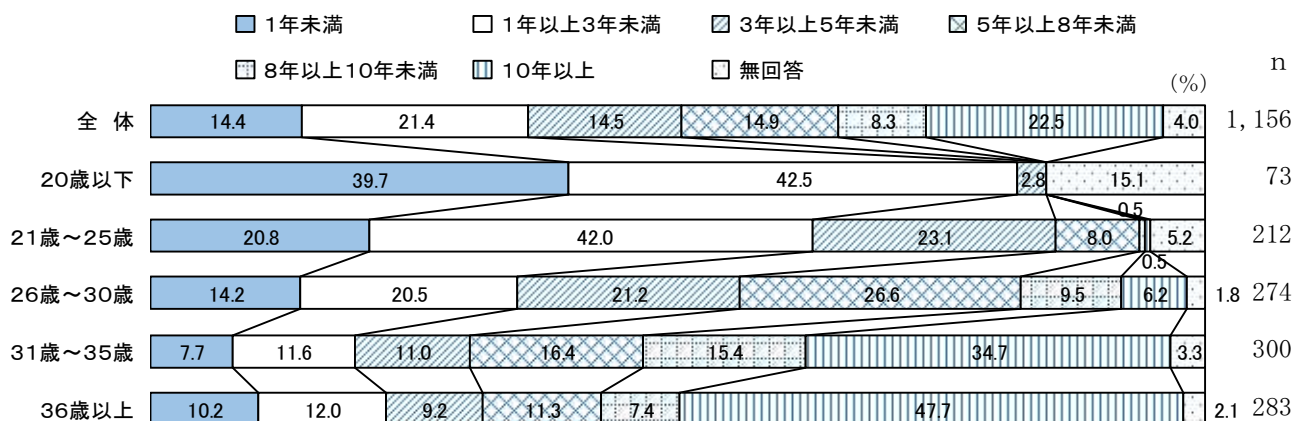


現在の仕事の勤務年数について 【問 1 1】

■現在の仕事に就いたのはいつですか。(1つ)

※仕事に就いた時期を「年」と「月」にわけて回答を求めた為、集計は回答の年月と集計時との期間差を勤務年数として計上した。

◇全体では、「10年以上」が22.5%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が21.4%となっている。

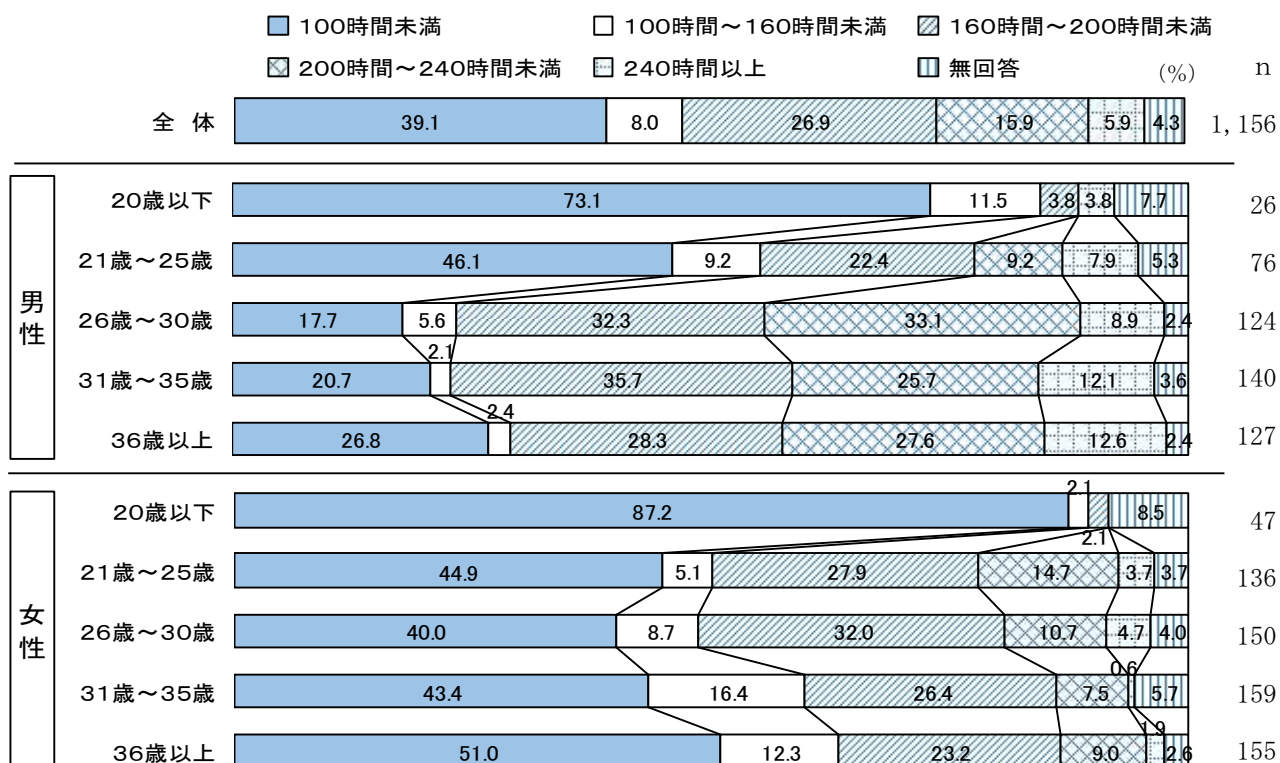


平均的な1か月の就労時間について 【問 1 2】

■平均的な1か月の就労時間はだいたいどの程度ですか。(1つ)

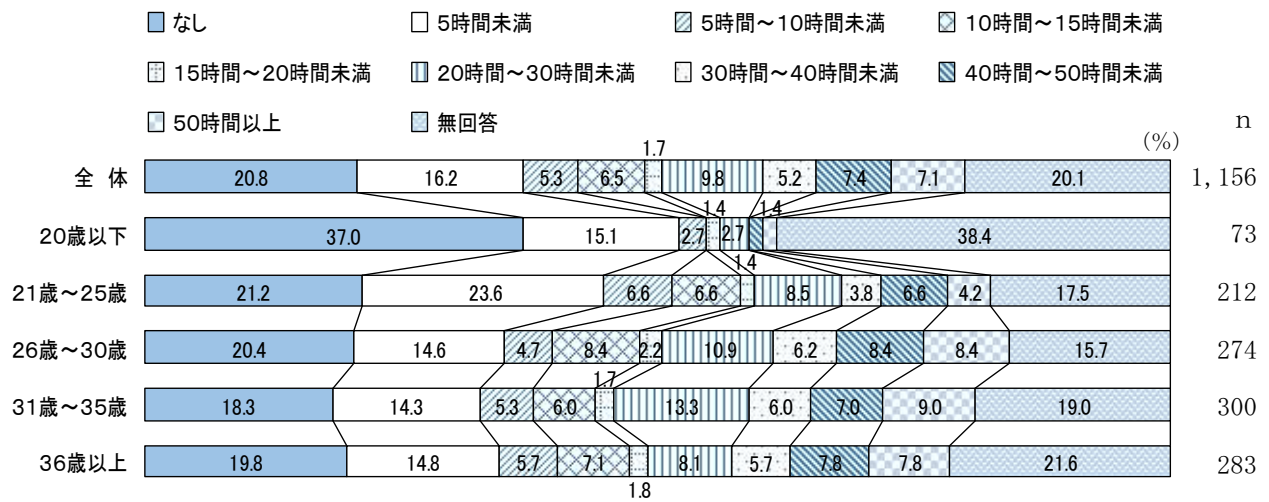
(1) 就労時間(残業含む)

◇全体では、「100時間未満」が39.1%と最も多く、次いで「160時間～200時間未満」が26.9%となっている。



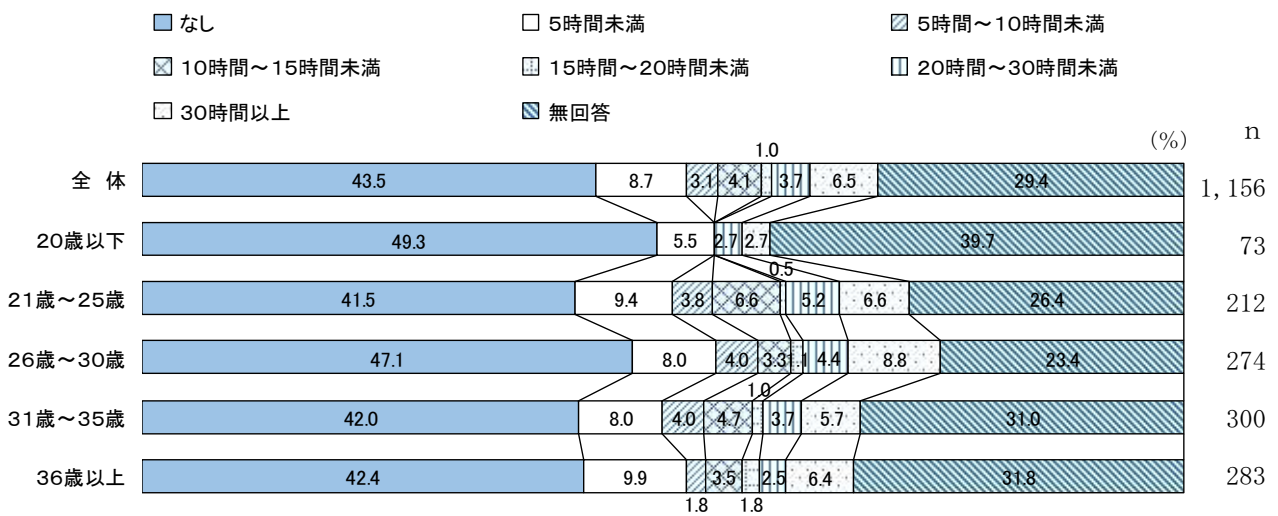
(2) 残業時間 ((1)に含む時間)

◇ 全体では、「なし」が20.8%と最も多い。



(3) サービス残業時間 ((1)、(2)に含む時間)

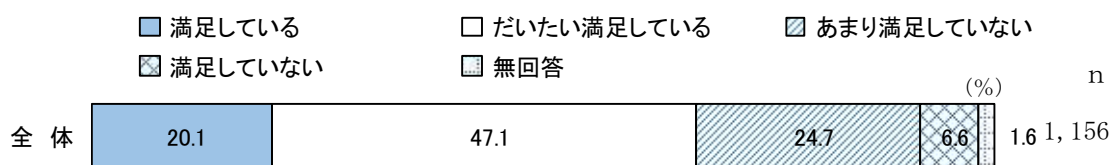
◇ 全体では、「なし」が43.5%と最も多い。



仕事の満足度について 【問13】

■ 現在の仕事に満足していますか。(1つ)

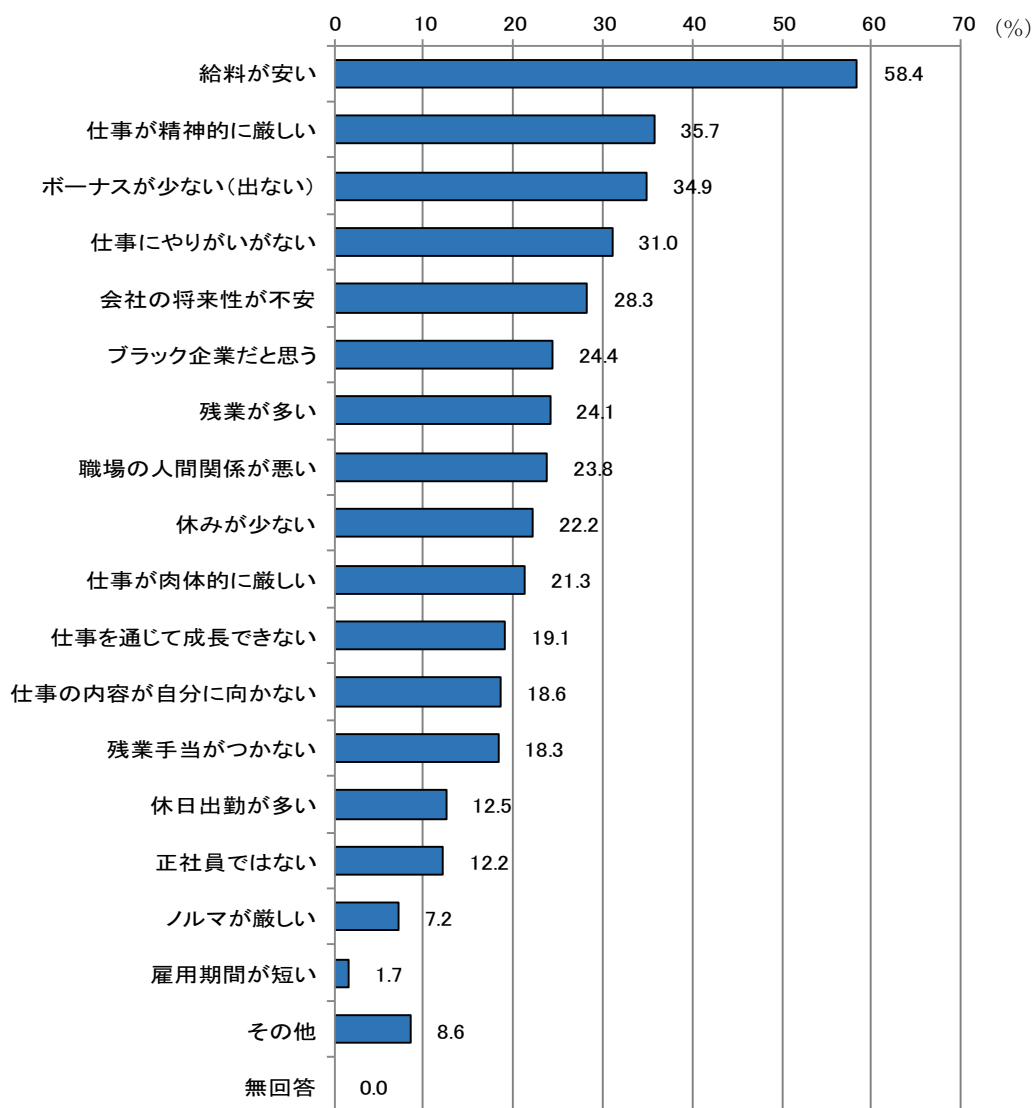
◇ 全体では、「だいたい満足している」が47.1%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が24.7%、「満足している」が20.1%となっている。



仕事に満足しない理由について 【問14】

■現在の仕事に満足していない理由は何ですか。(複数回答)

◇「給料が安い」が58.4%と最も多い。



回答数 全体=1,452

【前回調査との数値比較】

	仕事が精神的に厳しい		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	26.5	35.7	9.2

	休みが少ない		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	16.7	22.2	5.5

	仕事が肉体的に厳しい		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	13.9	21.3	7.4

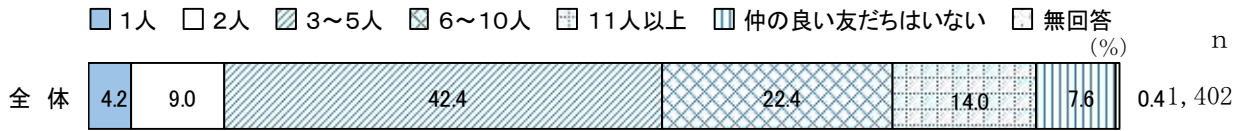
	正社員ではない		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	19.7	12.2	▲ 7.5

～友人関係、家族に関する質問～

仲の良い友だちについて 【問15】

■仲の良い友だちは何人いますか。(1つ)

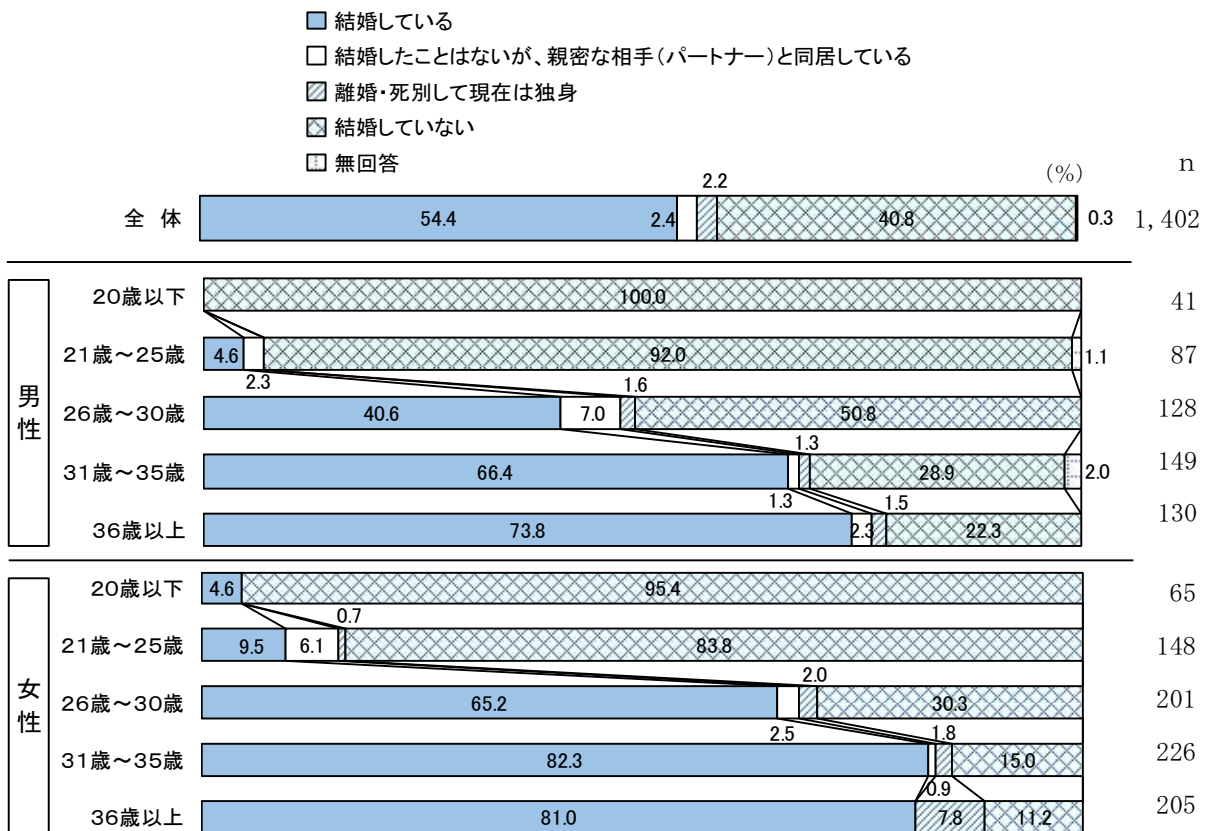
◇ 「3～5人」が42.4%と最も多い。また、「仲の良い友だちはいない」は7.6%である。



結婚について 【問16】

■現在、結婚されていますか。(1つ)

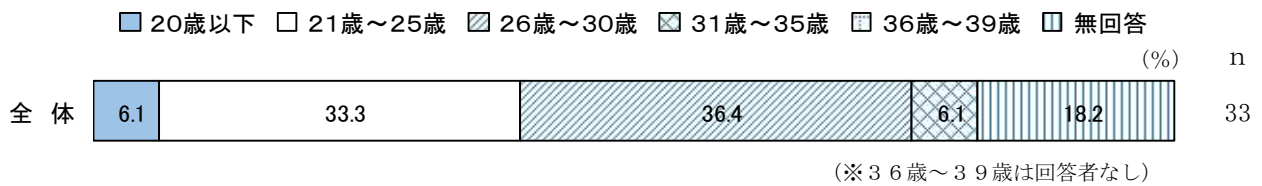
◇ 「結婚している」と回答した割合は、女性は「31歳～35歳」が82.3%と最も多く、男性は「36歳以上」が73.8%と最も多い。



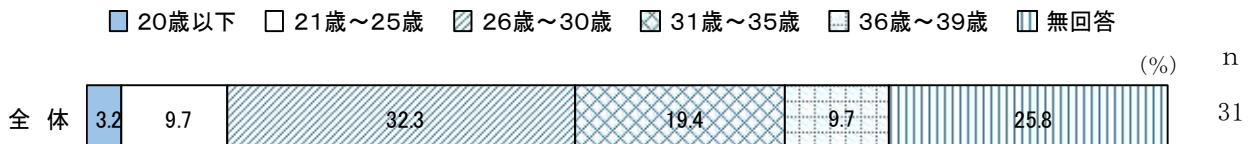
<結婚したのは何歳のときか>



<同居したのは何歳のときか>



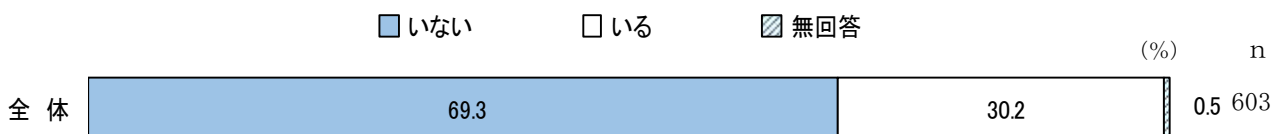
<離婚・死別して独身になったのは何歳のときか>



恋人の有無について 【問17】

■ 現在、恋人はいますか。(1つ)

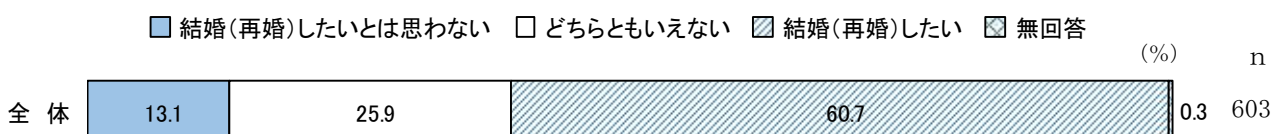
◇ 「いない」が69.3%、「いる」が30.2%となっている。



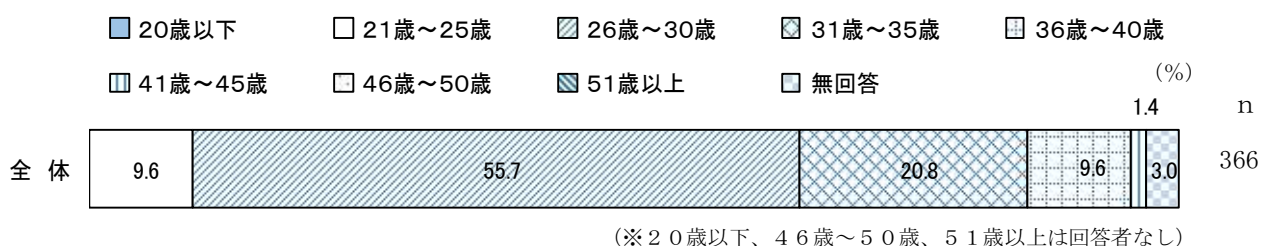
結婚願望の有無について 【問18】

■ 将来、結婚(再婚)したいですか。(1つ)

◇ 「結婚(再婚)したい」が60.7%と最も多い。



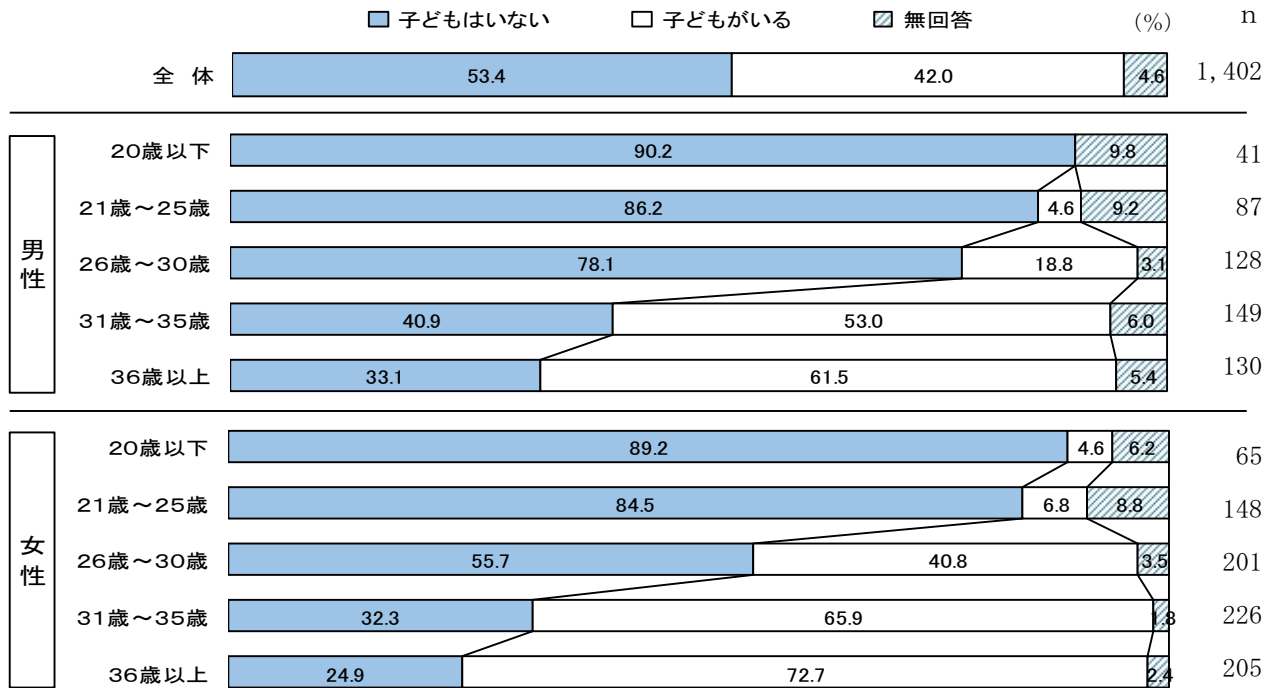
<何歳頃までに結婚(再婚)したいか>



子どもの有無について 【問19】

■お子さんがいますか。(1つ)

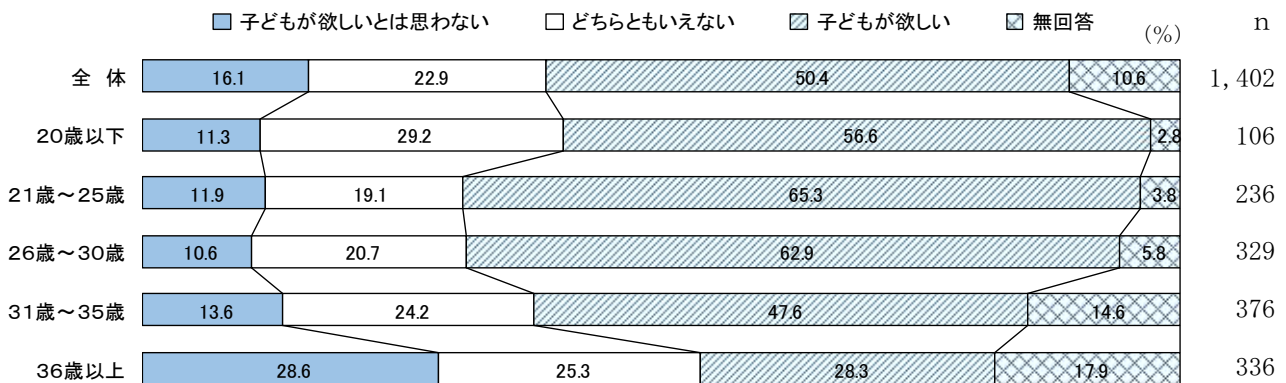
◇ 「子どもがいる」と回答した割合は、女性は「36歳以上」が72.7%と最も多く、男性は「36歳以上」が61.5%と最も多い。



子どもが欲しいかについて 【問20】

■将来、子どもが欲しいですか。すでにお子さんがある方も、もっと子どもが欲しい、という方は「子どもが欲しい」を選んでください。(1つ)

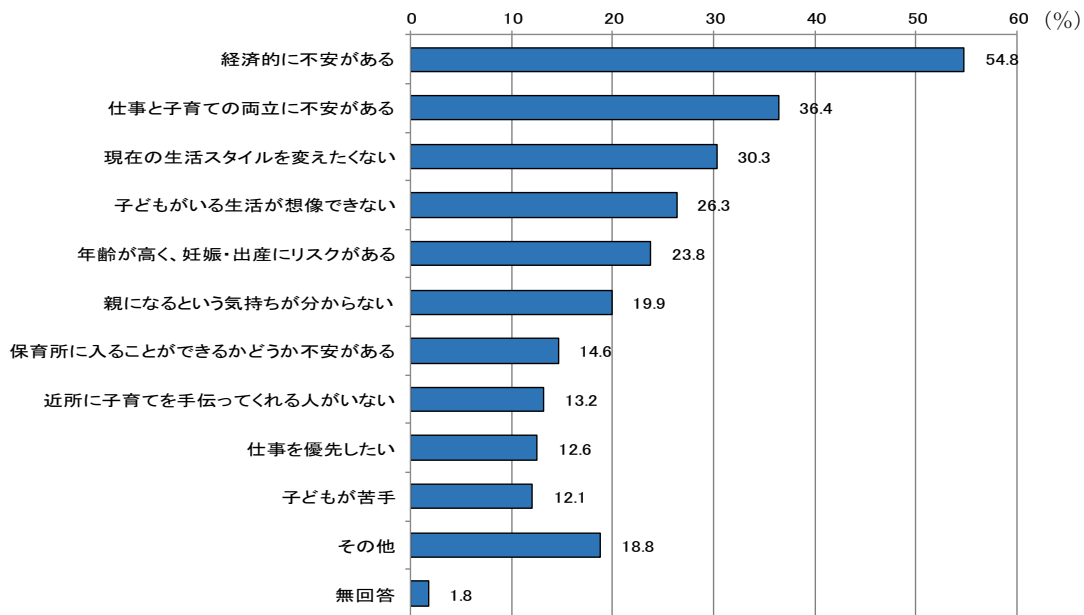
◇ 全体では、「子どもが欲しい」が50.4%と最も多い。



子どもが欲しいと思わない理由について 【問21】

■子どもが欲しいとは思わない理由またはどちらともいえない理由は何ですか。
(複数回答)

◇「経済的に不安がある」が54.8%と最も多い。



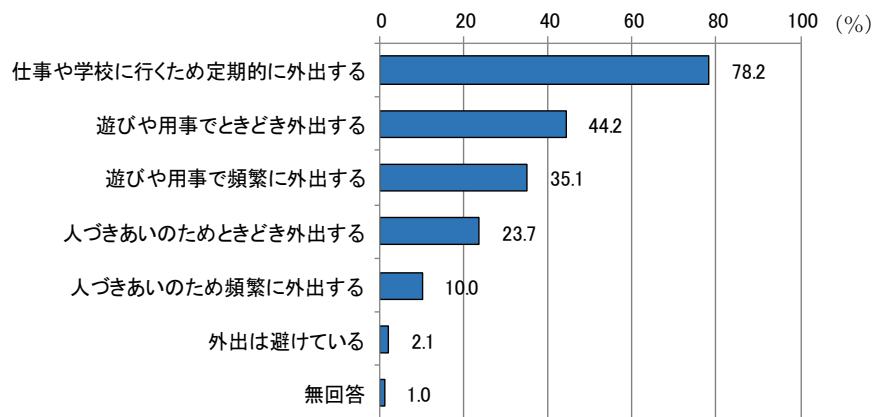
回答数 全体=1,448

～外出に関する質問～

ふだんの外出について 【問22】

■ふだん、どの程度外出しますか。(複数回答)

◇「仕事や学校に行くため定期的に外出する」が78.2%と最も多い。



回答数 全体=2,723

【前回調査との数値比較】

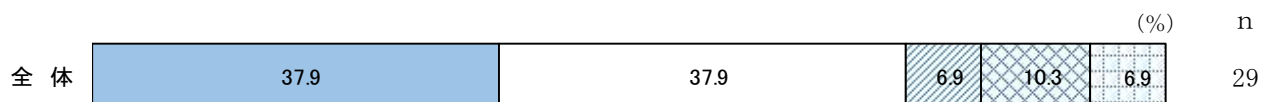
	外出は避けている		
	平成25年	平成30年	変化量
全体	2.2	2.1	▲0.1

外出の頻度について 【問23】

■外出の頻度はどの程度ですか。(1つ)

◇ 「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が37.9%と最も多い。

- ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する
- ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 自室から出るが、家からは出ない
- 自室からほとんど出ない
- 無回答

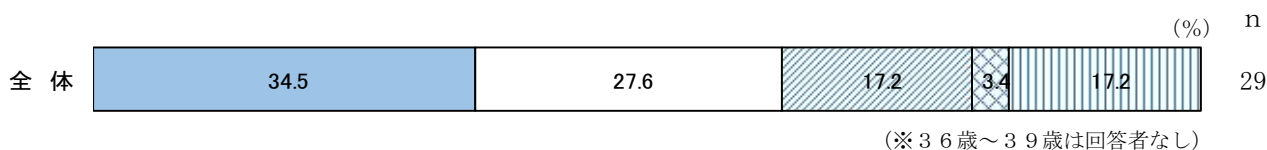


外出を避けるようになった年齢について 【問24】

■外出を避けるようになったのは、あなたが何歳の頃ですか。

◇ 「20歳以下」が34.5%と最も多い。

- 20歳以下
- 21歳～25歳
- 26歳～30歳
- 31歳～35歳
- 36歳～39歳
- 無回答



外出を避けるようになってからの期間について 【問25】

■外出を避けるようになってどのくらい経ちますか。(1つ)

◇ 「7年以上」が41.4%と最も多い。

- 6か月未満
- 6か月以上1年未満
- 1年以上3年未満
- 3年以上5年未満
- 5年以上7年未満
- 7年以上
- 無回答



【前回調査との数値比較】

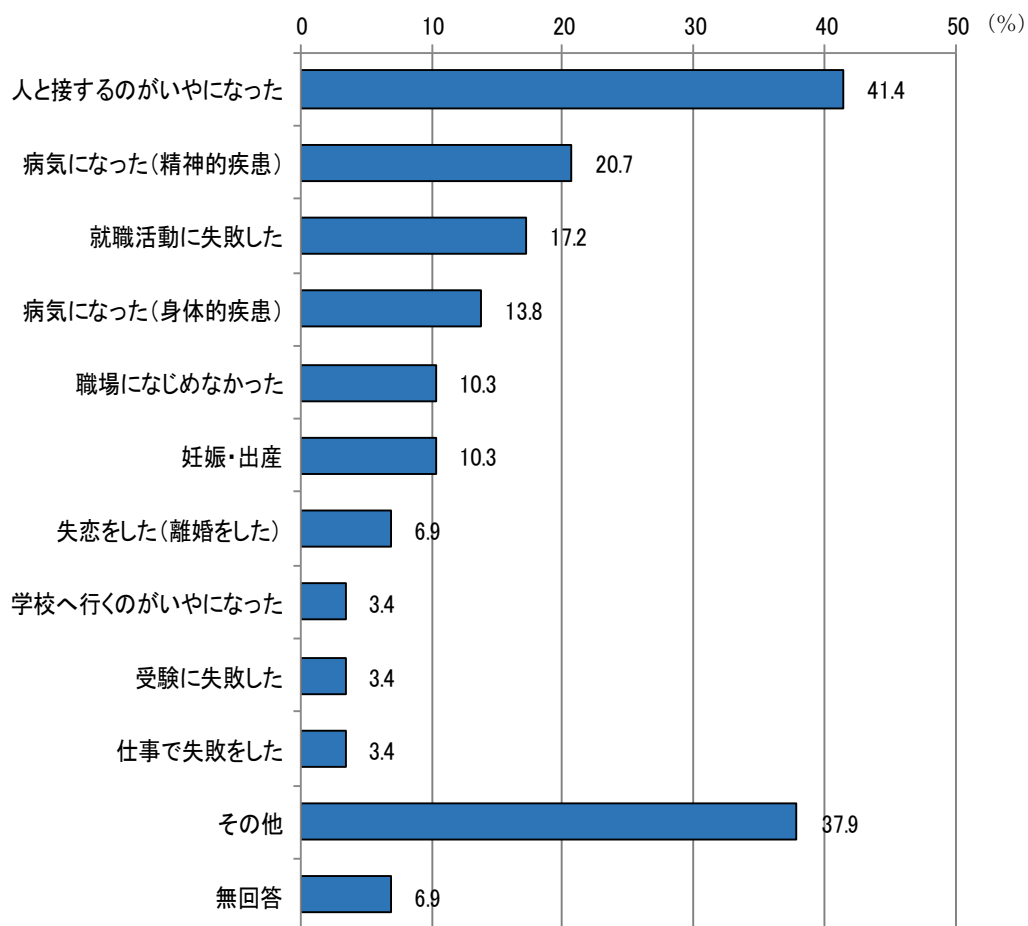
	5年以上7年未満			7年以上		
	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量
全体	6.3	10.3	4.0	18.8	41.4	22.6

外出を避けるようになったきっかけについて

【問26】

■外出を避けるようになったのは、どのようなきっかけですか。(複数回答)

◇ 「人と接するのがいやになった」が 41.4%と最も多く、次いで「病気になった(精神的疾患)」が 20.7%、「就職活動に失敗した」が 17.2%となっている。



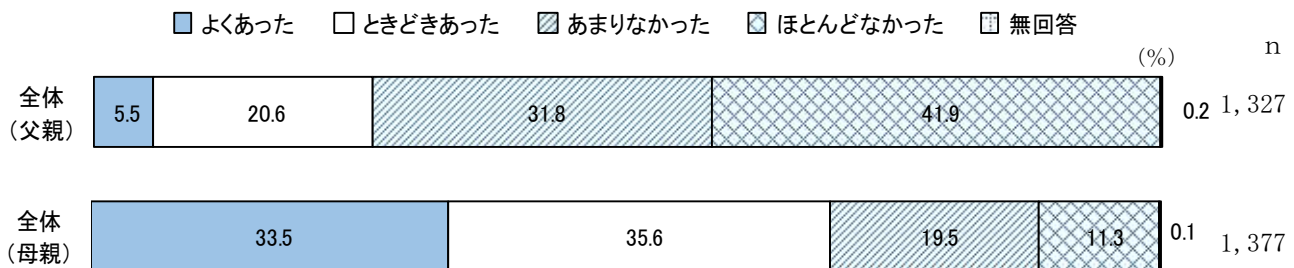
回答数 全体=51

～両親との関係に関する質問～

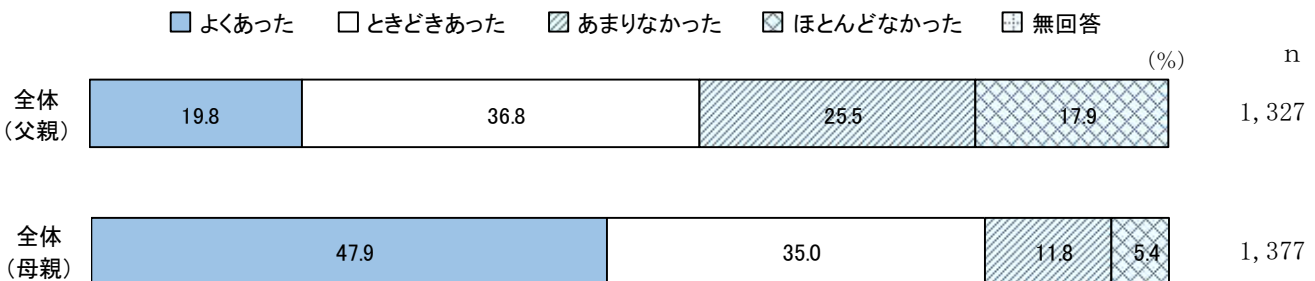
子どもの頃の父親・母親との関係について 【問27・問28】

■子どもの頃のお父さん・お母さんとの関係はどうでしたか。 (各1つ)

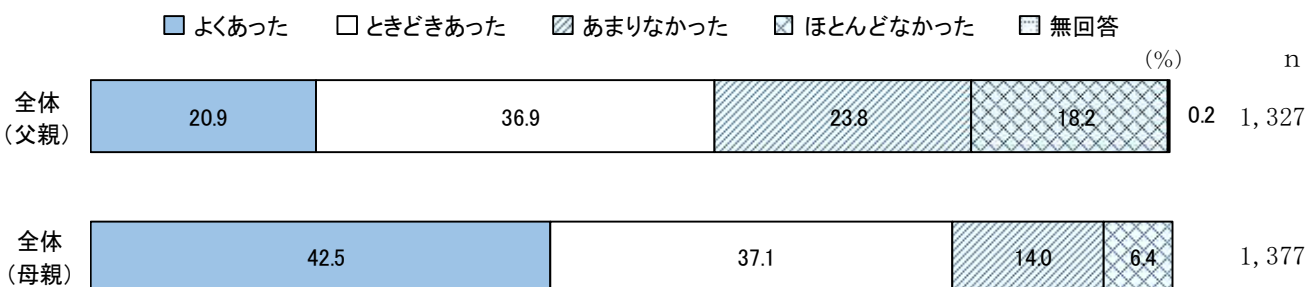
ア. 悩みごとなどを相談した



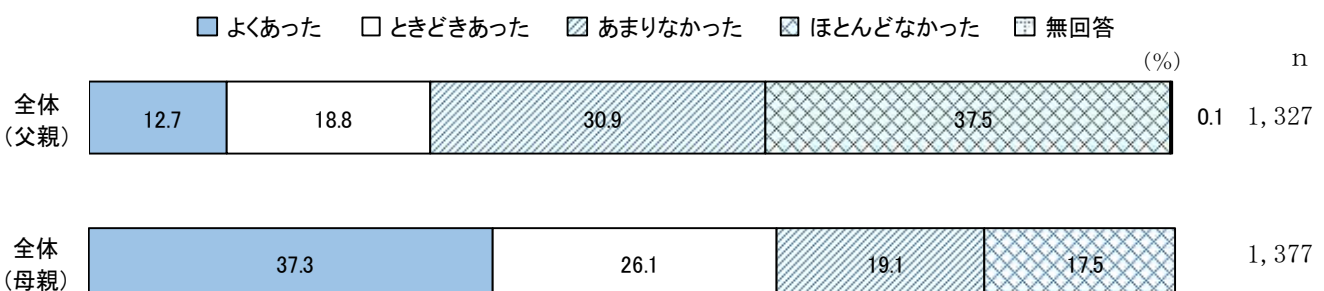
イ. 生活態度を注意された



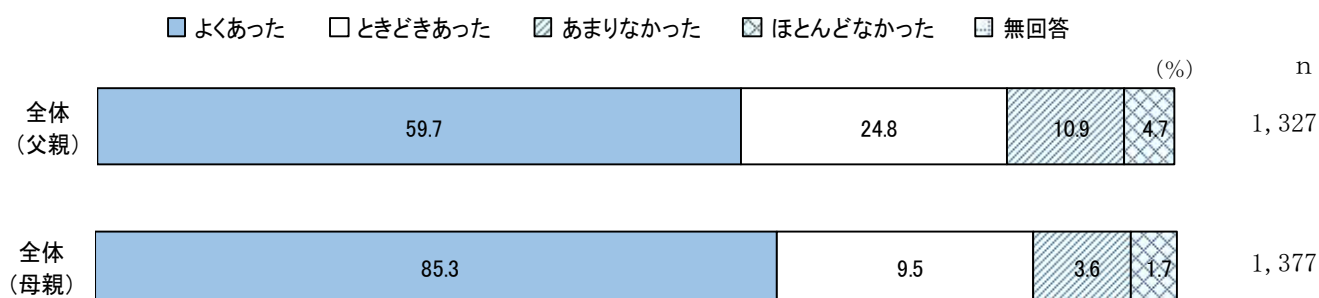
ウ. あなたの立場に立って物事を考えてくれた



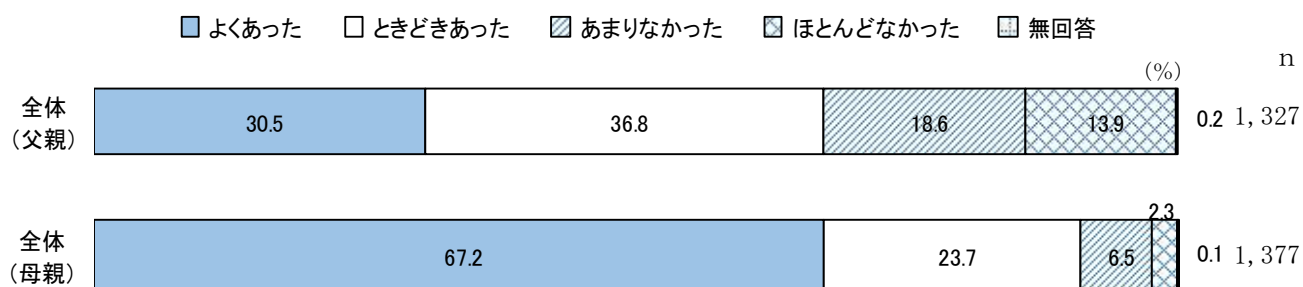
エ. 勉強をするよう注意された



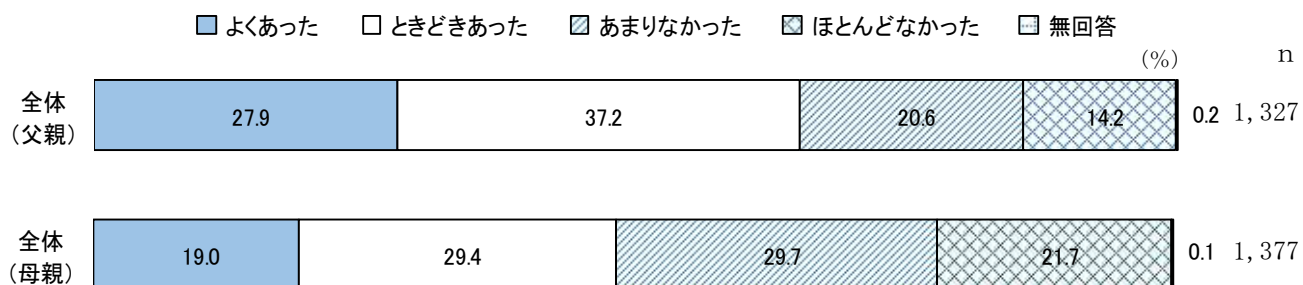
オ. 夕食をいっしょに食べた



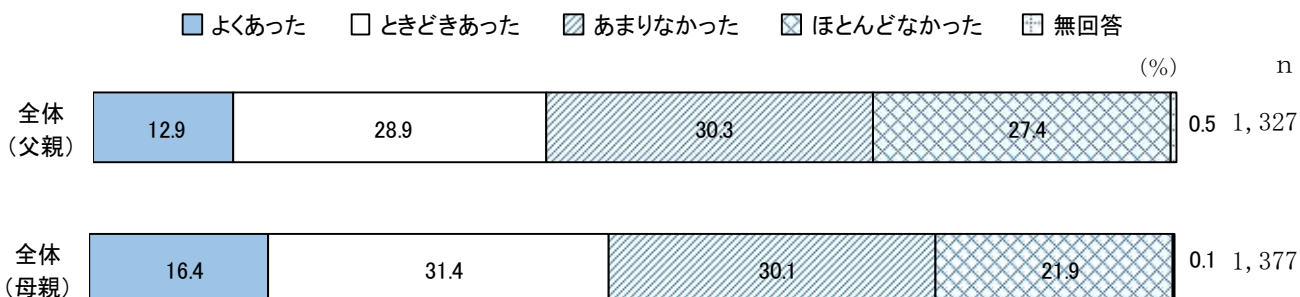
カ. いっしょに買い物に出かけた



キ. いっしょにスポーツや遊びをした



ク. いっしょに創造的な活動をした



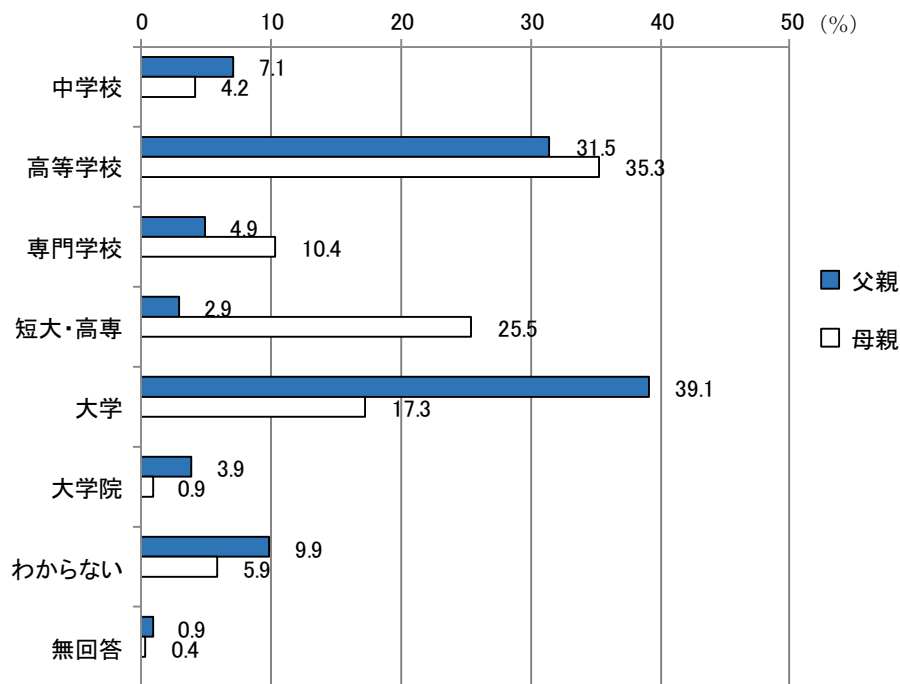
父親・母親の最終学歴について

【問29・問30】

■あなたのお父さん・お母さんが最後に卒業された学校は次のどれですか。(1つ)

◇ 父親は「大学」が39.1%と最も多く、次いで「高等学校」が31.5%となっている。

◇ 母親は「高等学校」が35.3%と最も多く、次いで「短大・高専」が25.5%となっている。



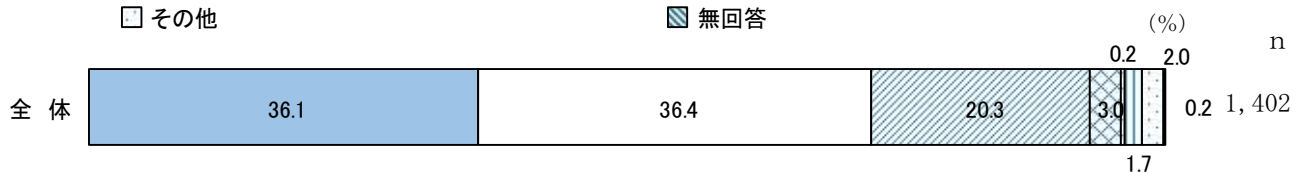
回答者数 全体=1,402

母親の結婚・出産後の就業について 【問31】

■あなたのお母さんは、結婚・出産後も働いていましたか。(1つ)

◇ 「子どもがある程度大きくなってから再就職した」が36.4%と最も多く、次いで「結婚・出産後も仕事を続けていた」が36.1%となっている。

- 結婚・出産後も仕事を続けていた
- 子どもがある程度大きくなってから再就職した
- 結婚や出産で仕事をやめ、以後専業主婦だった
- 働いていたことはない
- 母はいなかった
- わからない
- その他
- 無回答

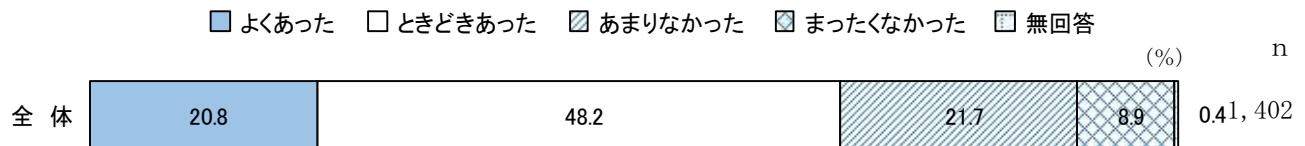


～近所の方との関係に関する質問～

子どもの頃、近所の大人にほめられた経験について 【問3 2】

■小学生・中学生の頃、近所の大人からほめられた経験はどの程度ありますか。(1つ)

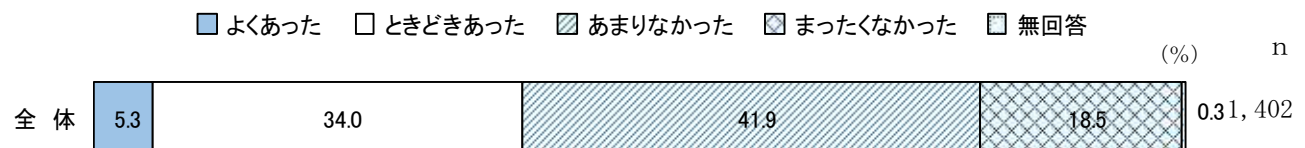
◇「ときどきあった」が48.2%と最も多い。



子どもの頃、近所の大人から注意やしかられた経験について 【問3 3】

■小学生・中学生の頃、近所の大人から注意されたり、しかられた経験はどの程度ありますか。(1つ)

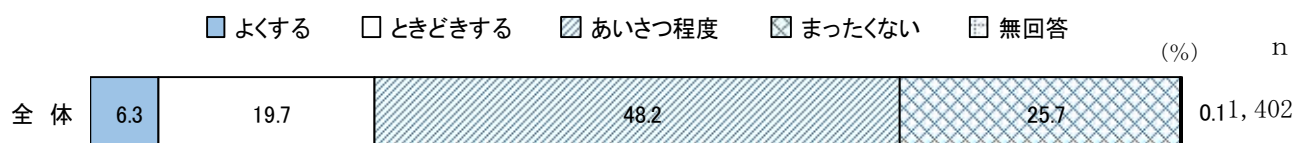
◇「あまりなかった」が41.9%と最も多い。



ご近所の方との世間話について 【問3 4】

■最近、ご近所の方と世間話をすることがありますか。(1つ)

◇「あいさつ程度」が48.2%と最も多い。

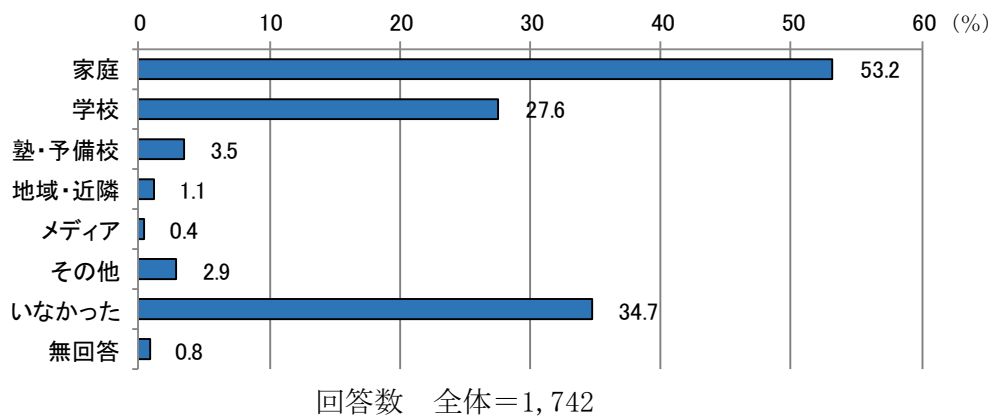


～これまでの経験に関する質問～

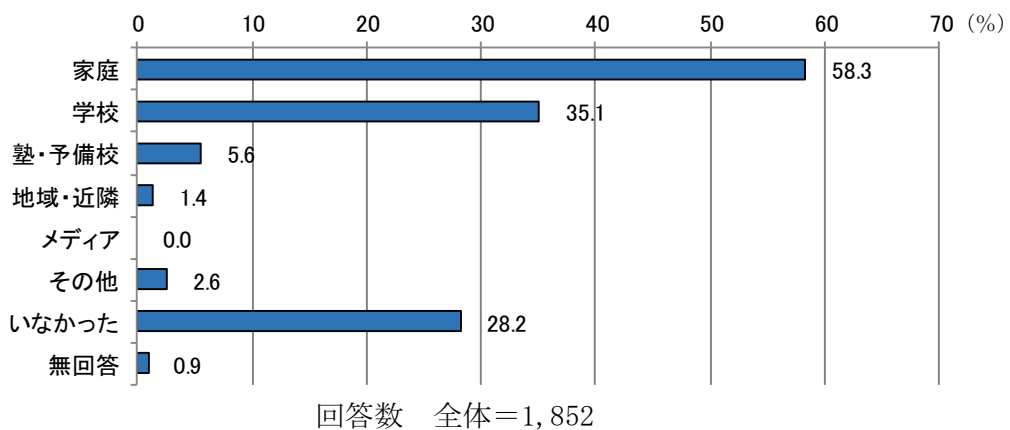
小学生・中学生の頃にまわりにいた大人について 【問35】

■小学生・中学生の頃に、次のア～ウのような「大人」の人はいましたか。(各2つまで)

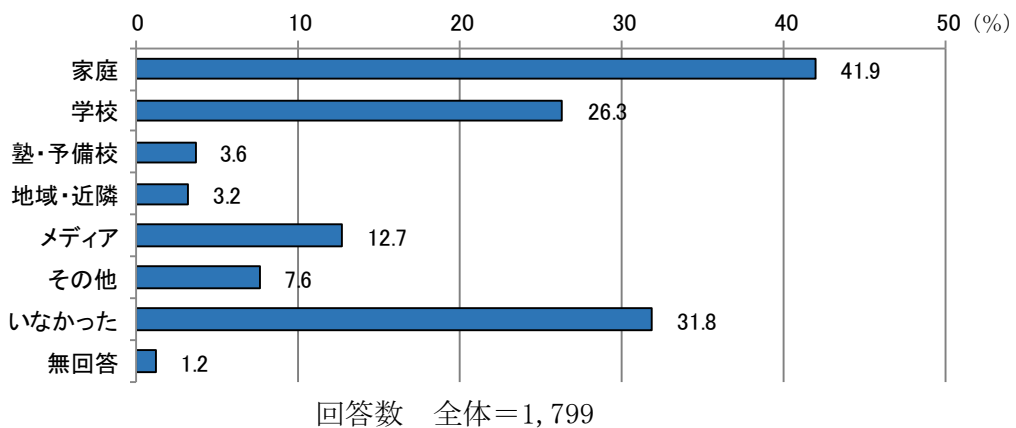
ア. 自分の悩みを打ち明けた「大人」の人



イ. 自分の将来のことを話せた「大人」の人



ウ. 自分の目標やお手本となった「大人」の人

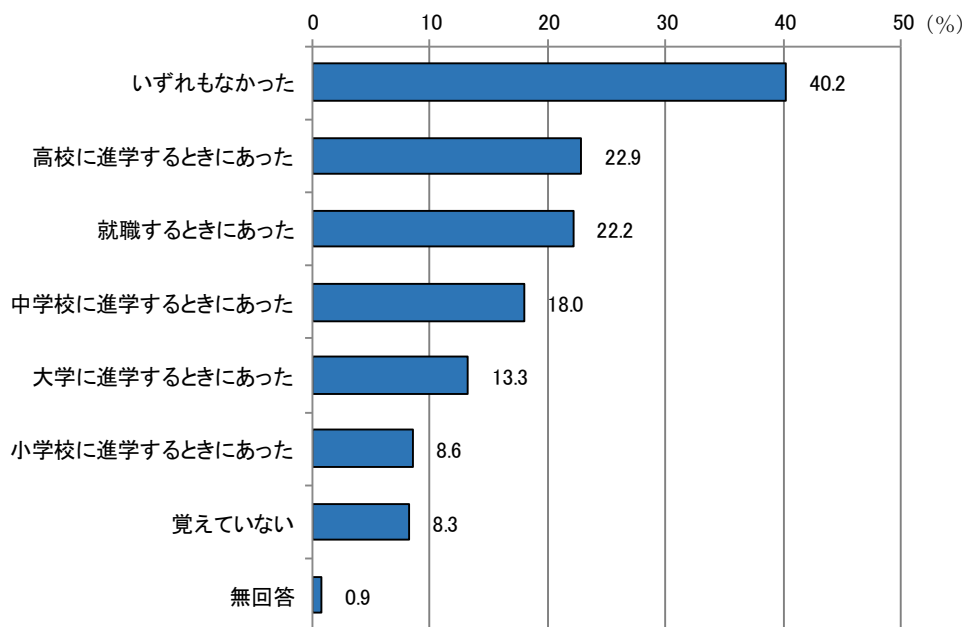


進学・就職時の環境への対応について

【問36】

■ 進学・就職をしたときに、スムーズに環境になじめないなど、苦勞したことがありますか。(複数回答)

◇ 「いずれもなかった」が40.2%で最も多く、次いで「高校に進学するときにあった」が22.9%、「就職するときにあった」が22.2%となっている。



回答数 全体=1,884

『進学・就職をしたときの環境への対応 (問36) と自分のことが好きか (問44)』

◎ 進学・就職をしたときに苦勞していない若者ほど、自分のことが好きな割合が高い。

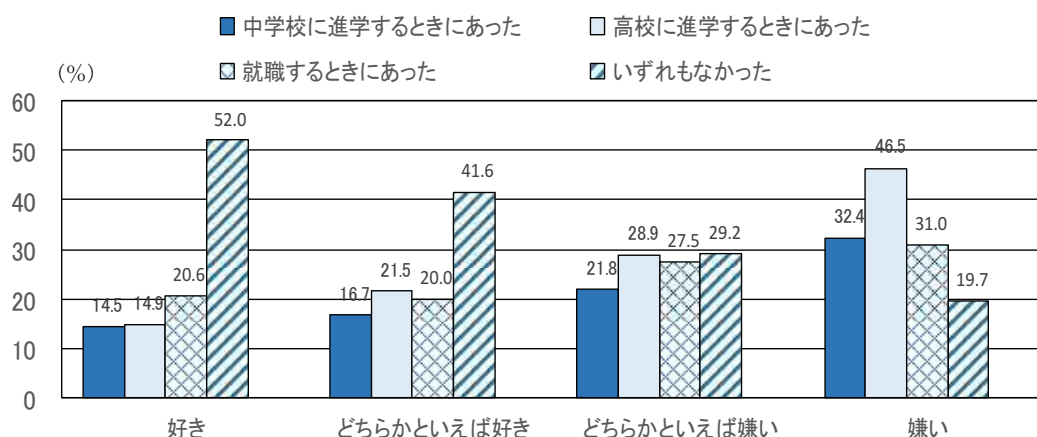


図 進学・就職をしたときの環境への対応と自分のことが好きかの割合

子どもとのふれあいや、子育てを学ぶ機会について 【問37】

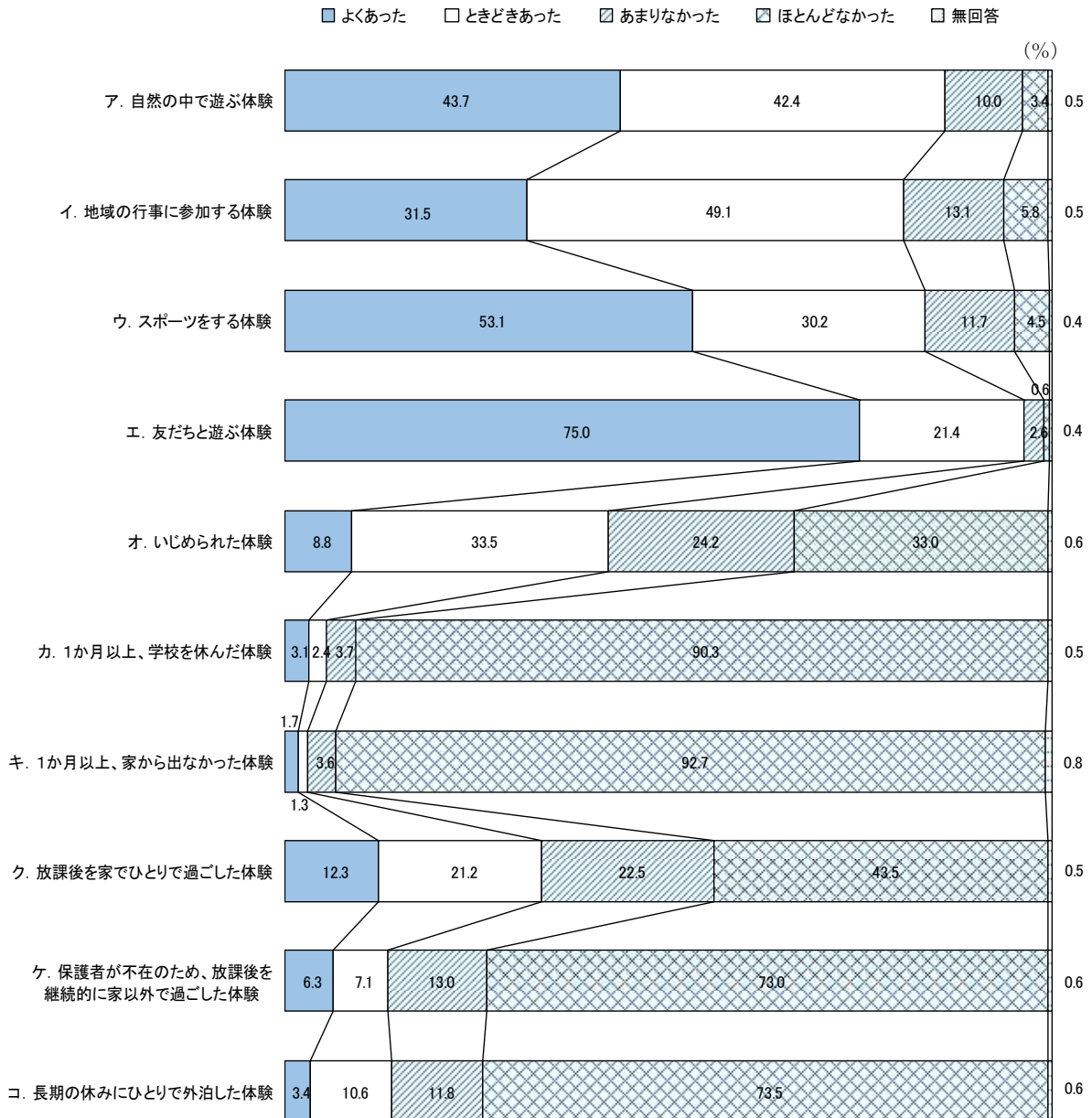
■これまでに（現在、子どもがいる方は、子どもが生まれるまでに）小さな子どもと触れあったり、子育てについて学ぶ機会はありましたか。（1つ）

◇ 「少しあった」が34.6%と最も多い。



小学生・中学生の頃の体験について 【問38】

■小学生・中学生の頃にどのような体験をしましたか。（各1つ）



『自然の中で遊ぶ体験（問38ア）と自己肯定感（問44～問46）』

○ 自然の中で遊ぶ体験が「あまりなかった」「ほとんどなかった」と回答した人のほうが「自己肯定感」が低い。

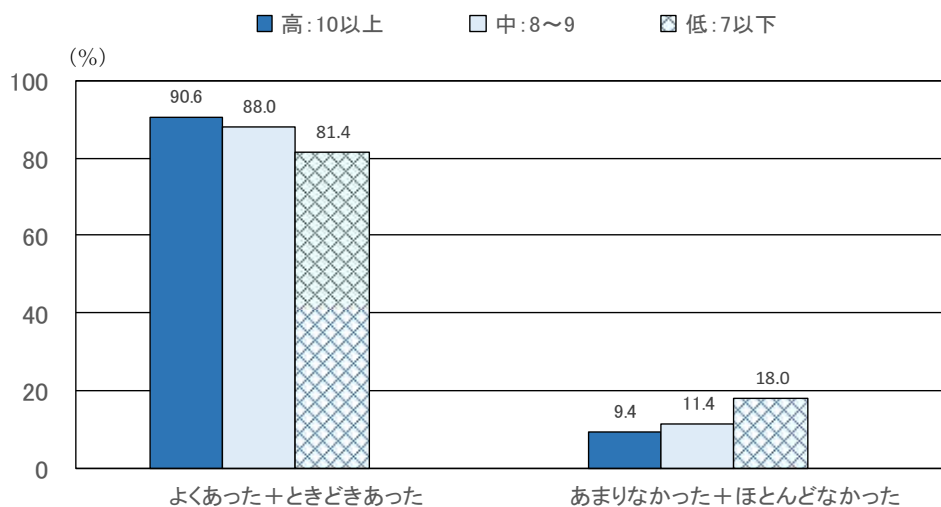


図 自己肯定感と自然の中で遊んだ体験の割合

『スポーツをする体験（問38ウ）と自己肯定感（問44～問46）』

○ スポーツをする体験が「あまりなかった」「ほとんどなかった」と回答した人のほうが「自己肯定感」が低い。

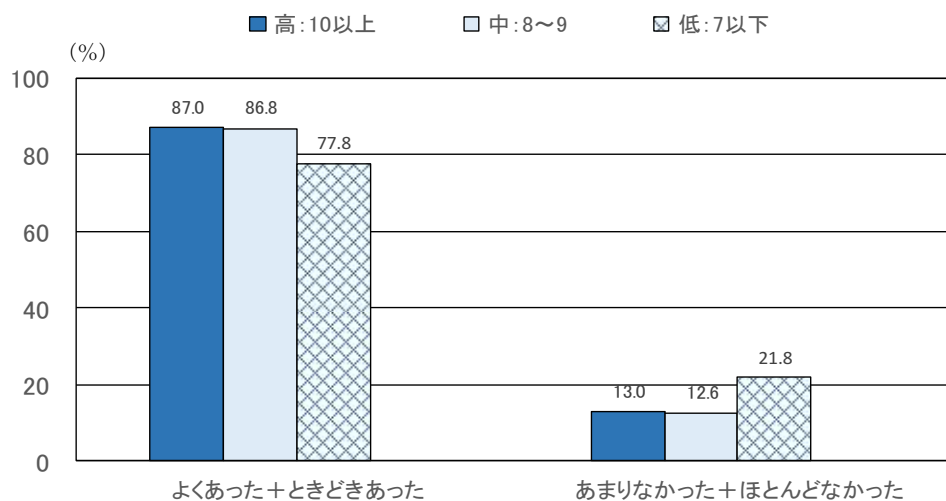


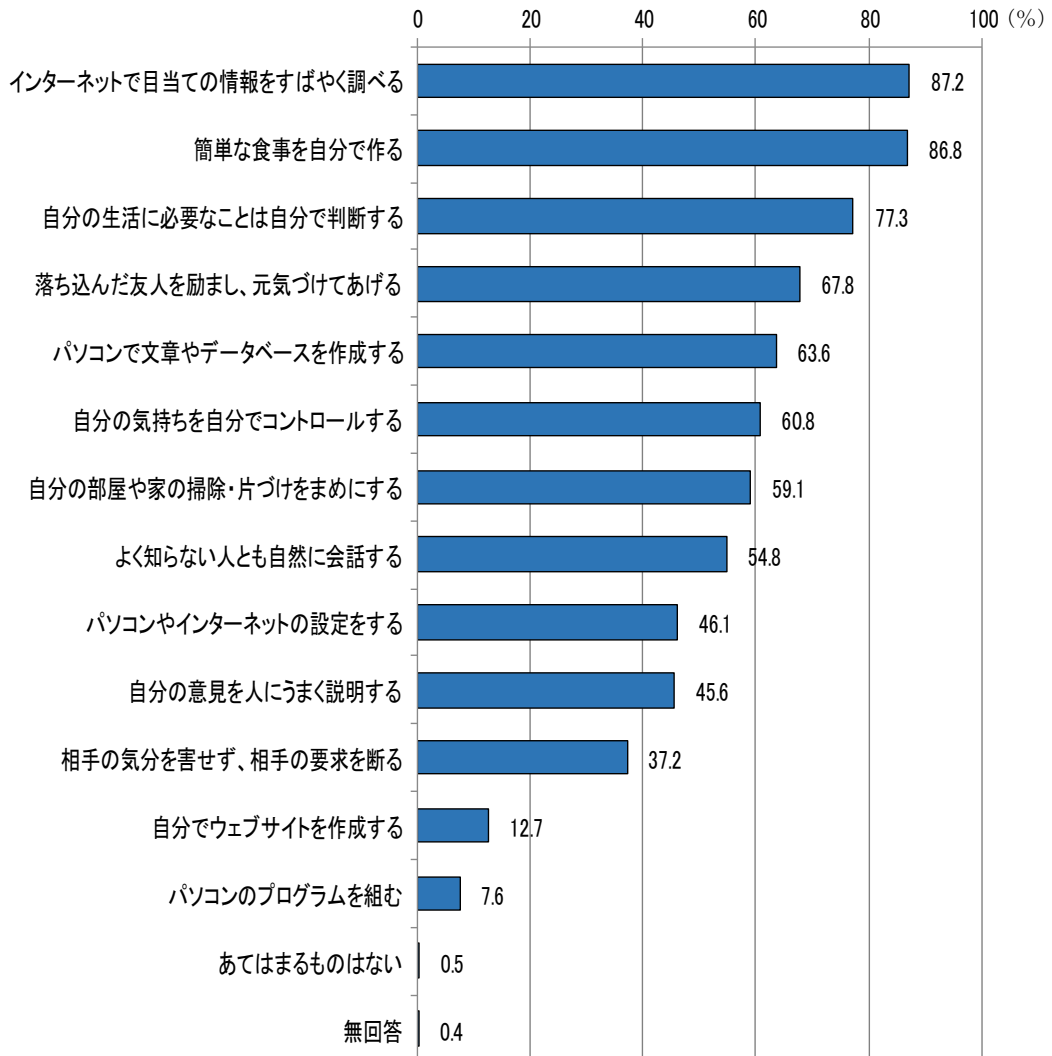
図 自己肯定感とスポーツをする体験の割合

～考えや感じていることに関する質問～

あなたができることについて 【問39】

■次の中から、あなたができると思うものはなんですか。(複数回答)

◇ 「インターネットで目当ての情報をすばやく調べる」が87.2%と最も多く、次いで「簡単な食事を自分で作る」が86.8%となっている。



回答数 全体=9,920

『できること（問39）と近所の大人からほめられた経験（問32）』

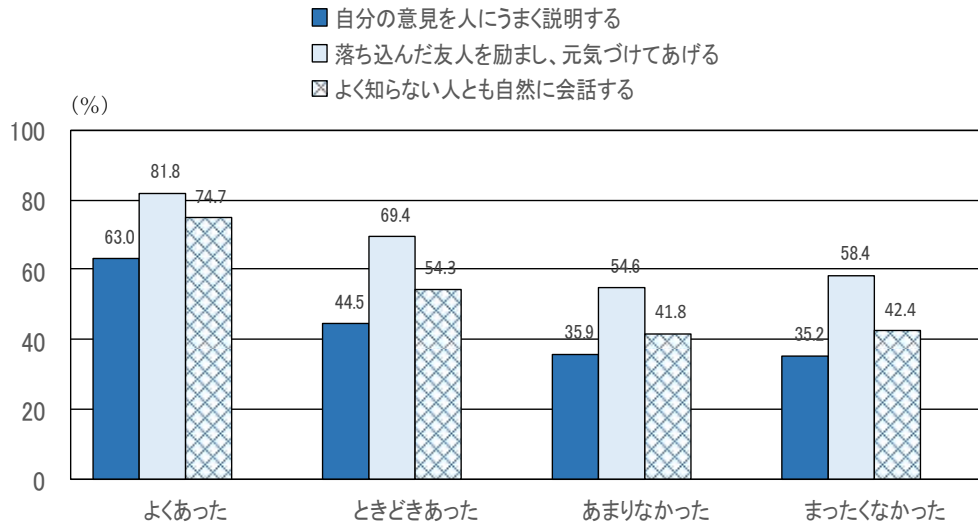


図 できることと近所の大人からほめられた経験の割合

『できること（問39）と近所の大人から注意されたり、しかられた経験（問33）』

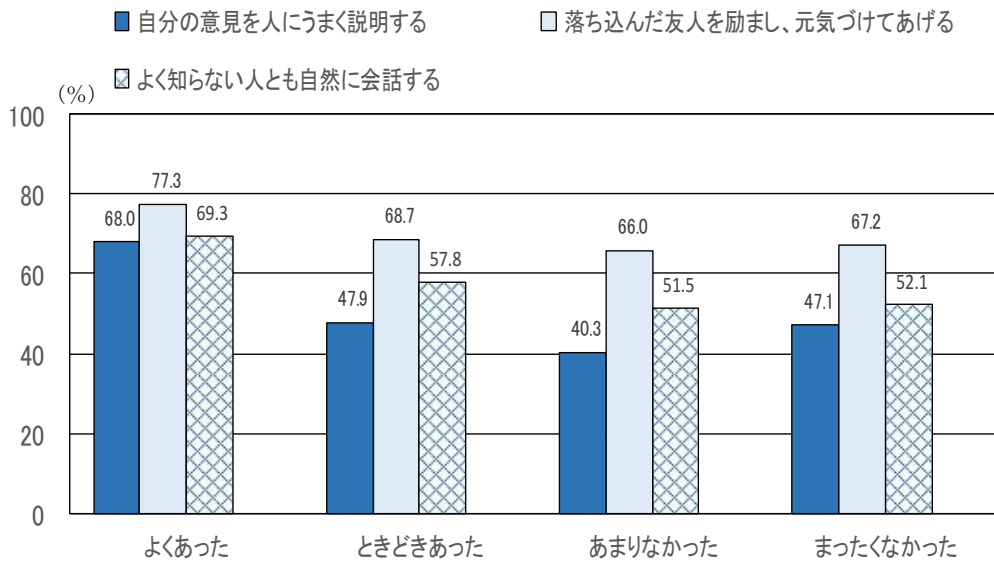
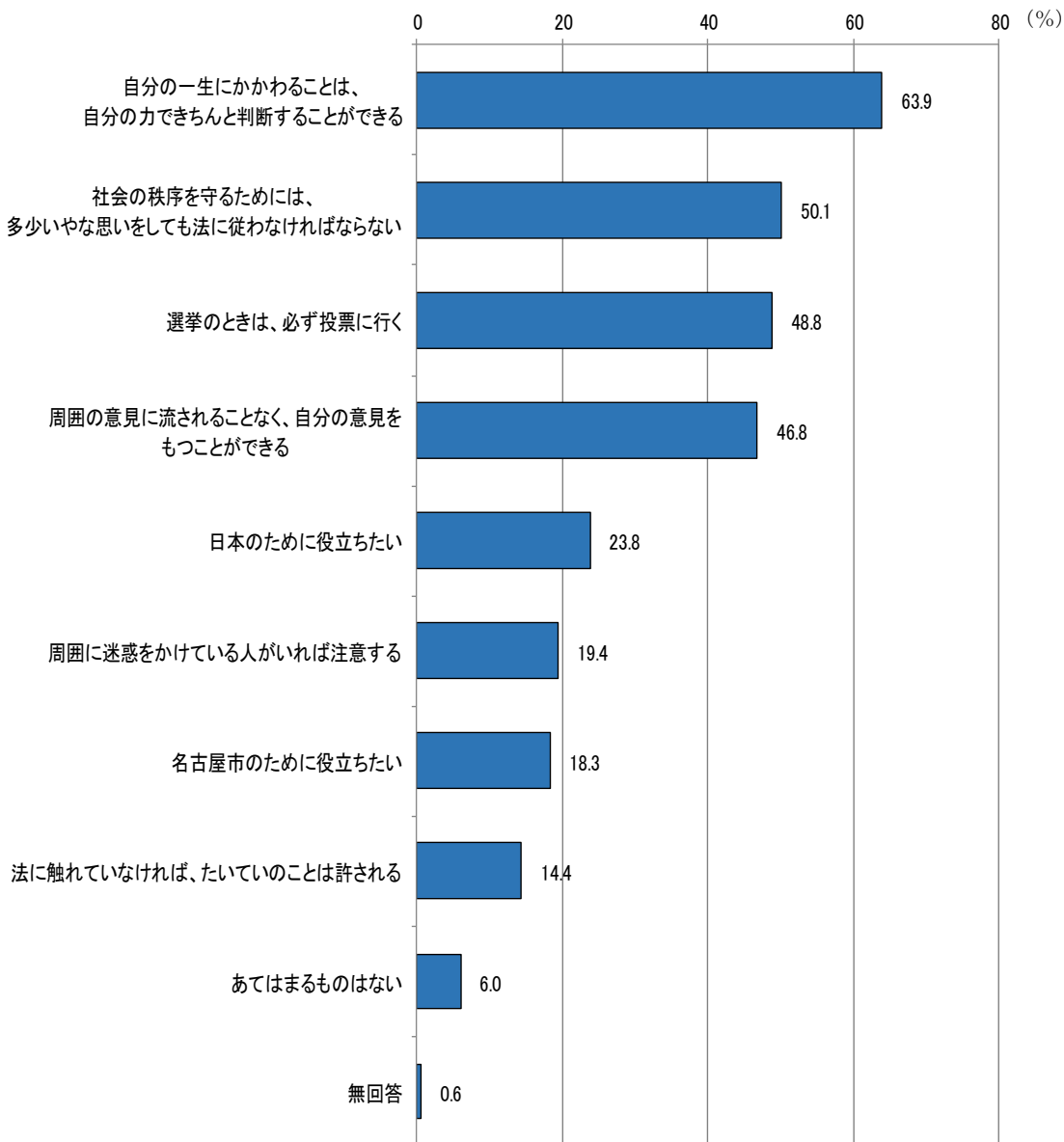


図 できることと近所の大人から注意されたり、しかられた経験の割合

ふだんから考えたり、やったりしていることについて 【問40】

■ 次の中から、あなたがふだんから考えたり、やったりしていることはなんですか。
 (複数回答)

◇ 全体では、「自分の一生にかかわることは、自分の力できちんと判断することができる」が63.9%と最も多い。

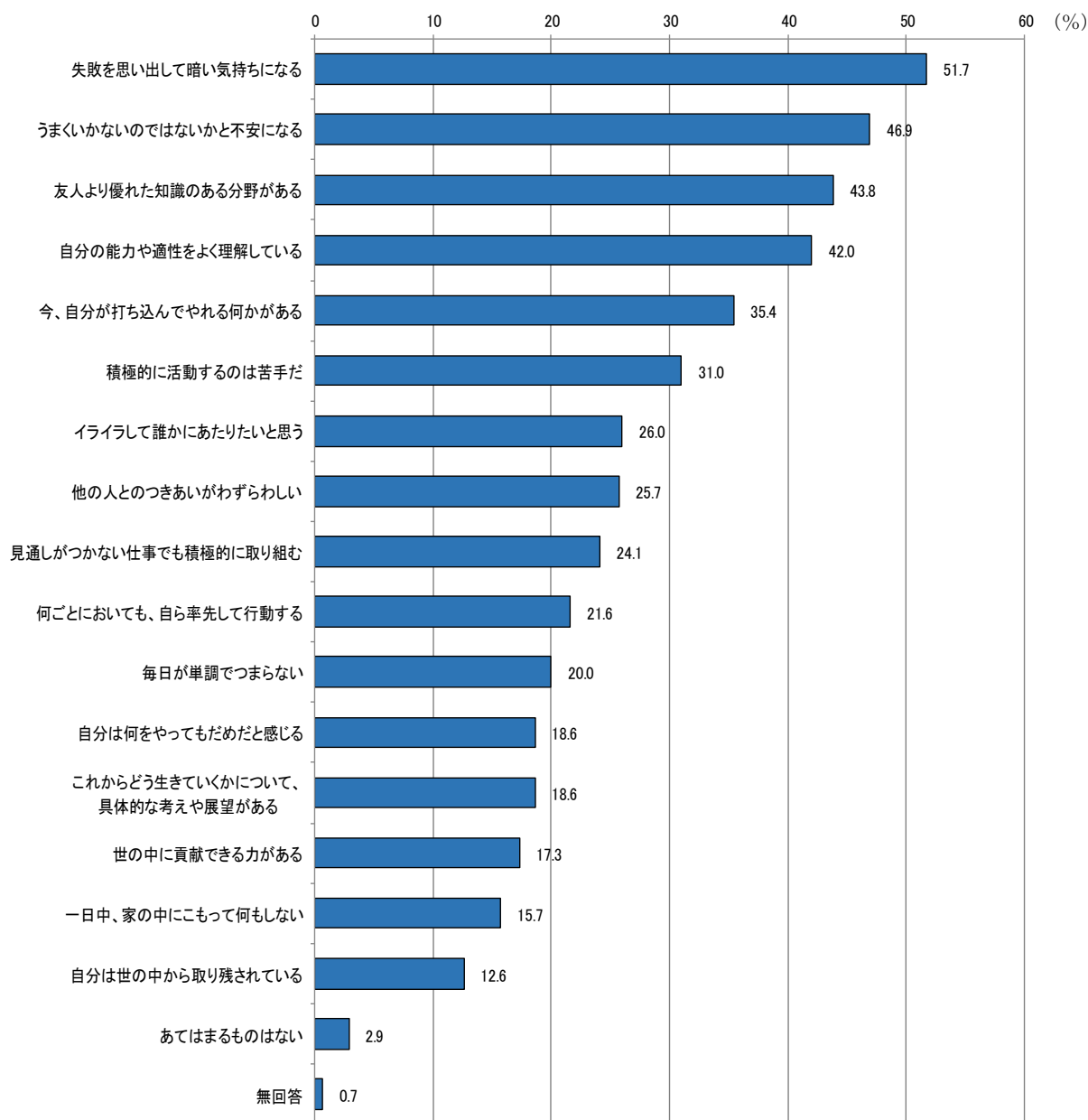


回答数 全体=4,096

ふだんのあなたにあてはまると思うものについて 【問 4 1】

■次の中から、ふだんのあなたにあてはまると思うものはなんですか。(複数回答)

◇ 「失敗を思い出して暗い気持ちになる」が 51.7%と最も多く、次いで「うまくいかないのではないかと不安になる」が 46.9%、「友人より優れた知識のある分野がある」が 43.8%、「自分の能力や適性をよく理解している」が 42.0%となっている。



回答数 全体=6,375

『ふだんのあなたにあてはまるもの（問4 1）と自分のことが好きか（問4 4）』

◎ 自分のことが好きな若者ほど、知識や能力、行動に前向きな意識が強い。

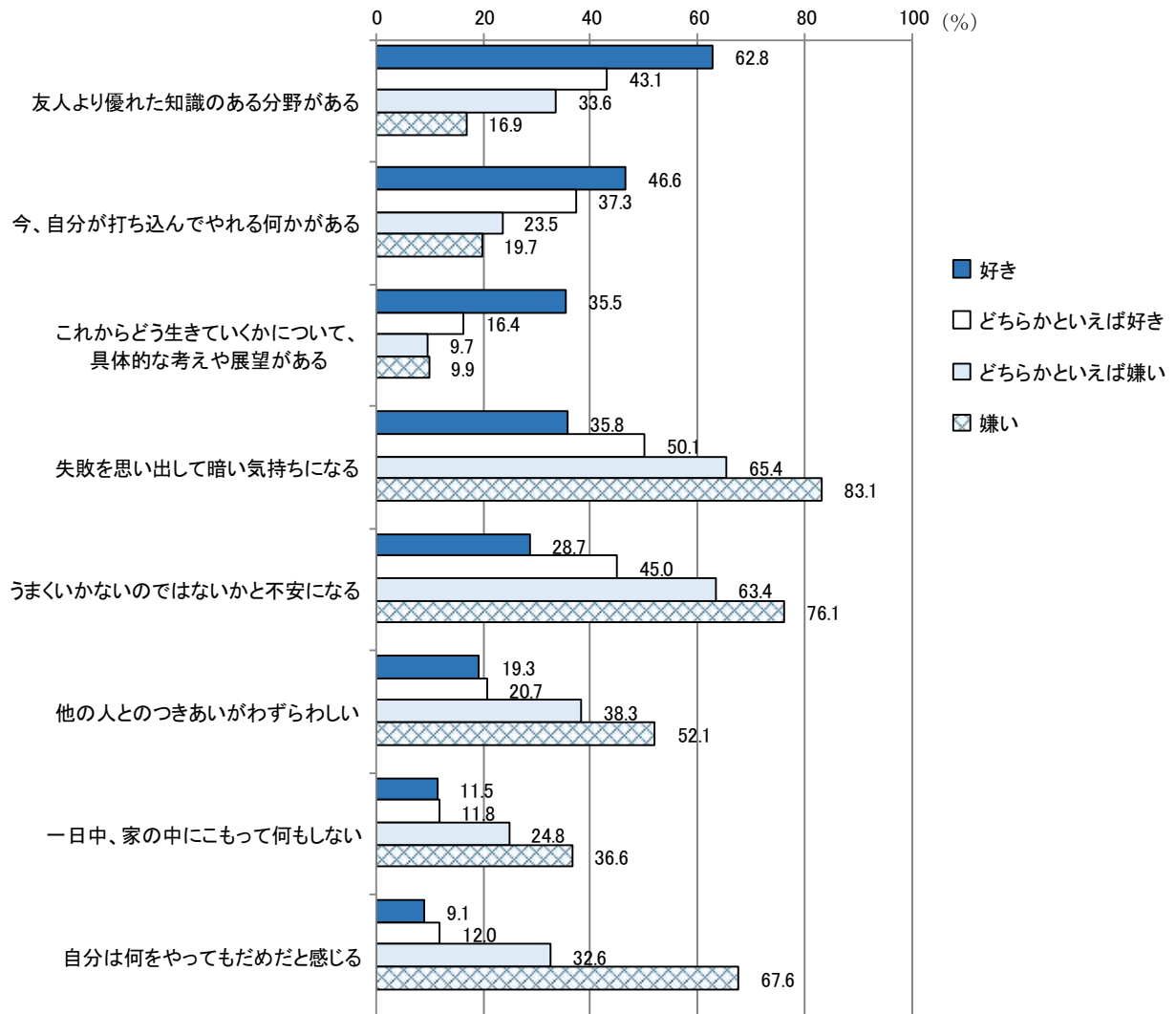
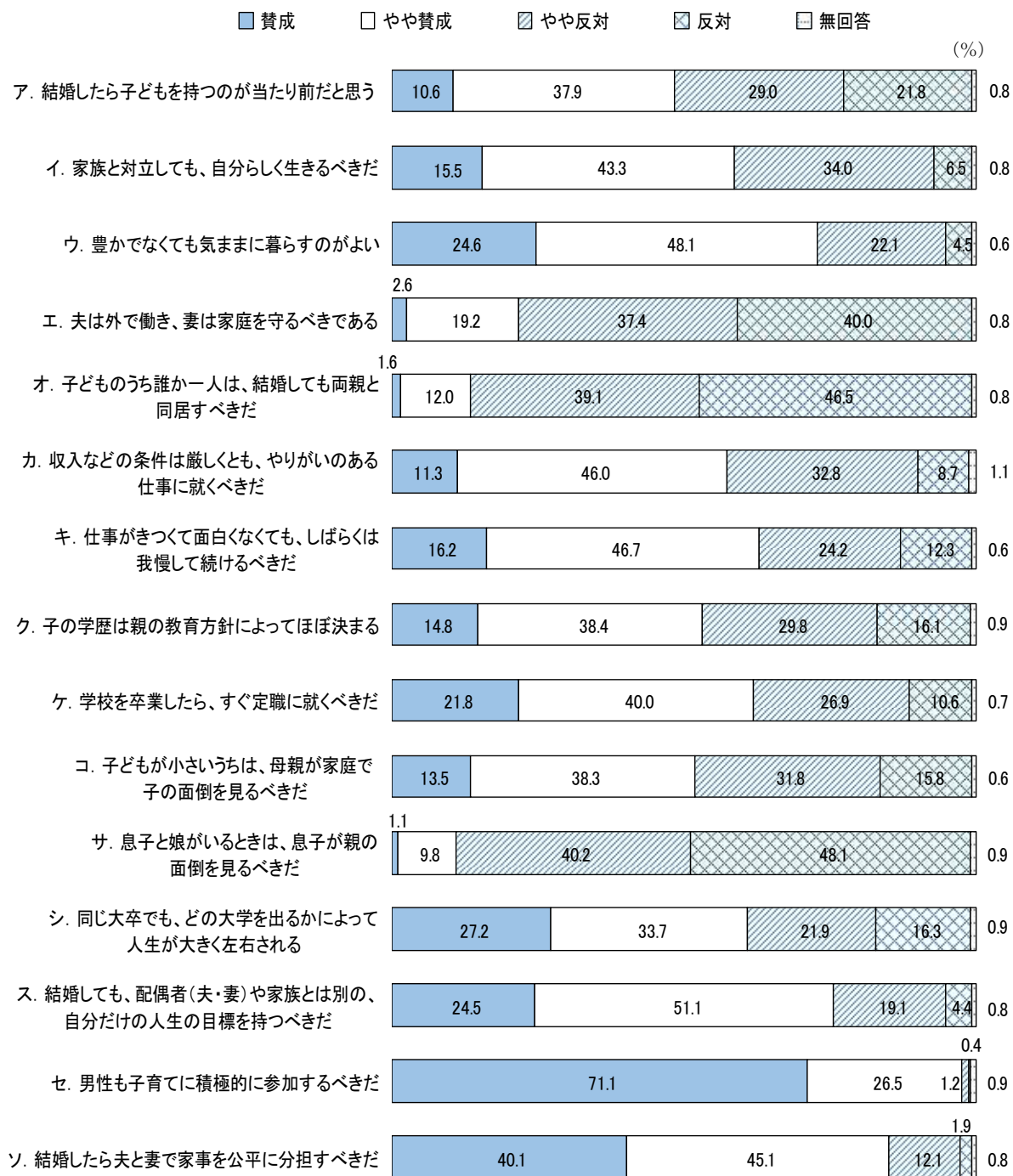


図 ふだんのあなたにあてはまるものと自分のことが好きかの割合

つぎの意見に賛成か、反対かについて 【問42】

■ 次の意見に賛成ですか、それとも反対ですか。(1つ)



回答者数 全体=1,402

【前回調査との数値比較】

	ア. 結婚したら子どもを持つのが 当たり前だと思う		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
賛成	18.7	10.6	▲ 8.1
やや賛成	43.9	37.9	▲ 6.0
やや反対	23.8	29.0	▲ 5.2
反対	12.2	21.8	▲ 9.6

エ. 夫は外で働き、妻は家庭を守る べきである		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
5.4	2.6	▲ 2.8
27.0	19.2	▲ 7.8
38.7	37.4	▲ 1.3
27.7	40.0	▲ 12.3

	コ. 子どもが小さいうちは、母親が 家庭で子の面倒を見るべきだ		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
賛成	22.4	13.5	▲ 8.9
やや賛成	42.9	38.3	▲ 4.6
やや反対	22.7	31.8	▲ 9.1
反対	10.6	15.8	▲ 5.2

セ. 男性も子育てに積極的に参加 するべきだ		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
64.2	71.1	▲ 6.9
32.5	26.5	▲ 6.0
1.8	1.2	▲ 0.6
0.5	0.4	▲ 0.1

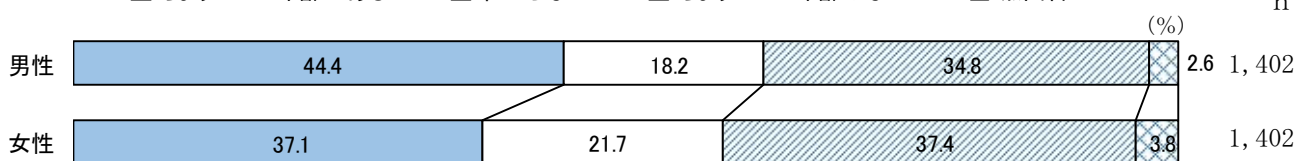
	ソ. 結婚したら夫と妻で家事を公平に 分担すべきだ		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
賛成	28.4	40.1	▲ 11.7
やや賛成	47.6	45.1	▲ 2.5
やや反対	19.4	12.1	▲ 7.3
反対	3.0	1.9	▲ 1.1

人生で経験する出来事へのあなたの考え方について 【問 4 3】

■人生で経験する出来事について、次のア～オの出来事を経験するのに「理想的な年齢」は、男女それぞれについて何歳ぐらいだと思いますか。「理想的な年齢」があると思うものは「ちょうどいい年齢がある」を選び、その年齢を記入してください。（1つ）

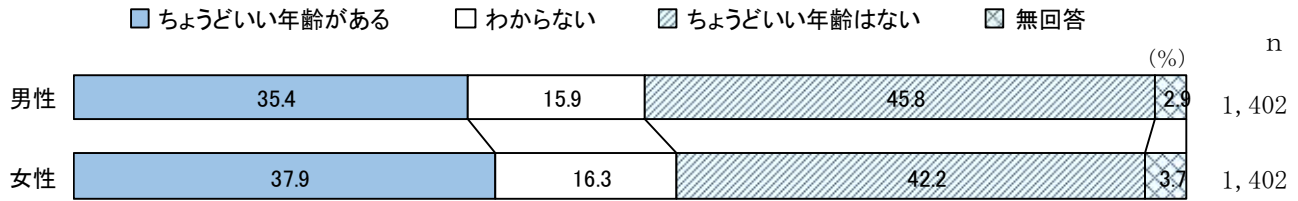
ア. 親元を離れるちょうどいい年齢

■ ちょうどいい年齢がある □ わからない ▨ ちょうどいい年齢はない ▩ 無回答



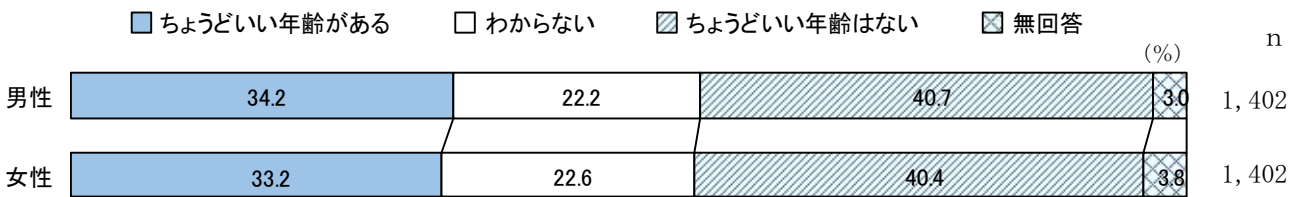
	男性	女性
親元を離れるちょうどいい年齢 (平均)	20.8 歳	21.3 歳

イ. 結婚にちょうどいい年齢



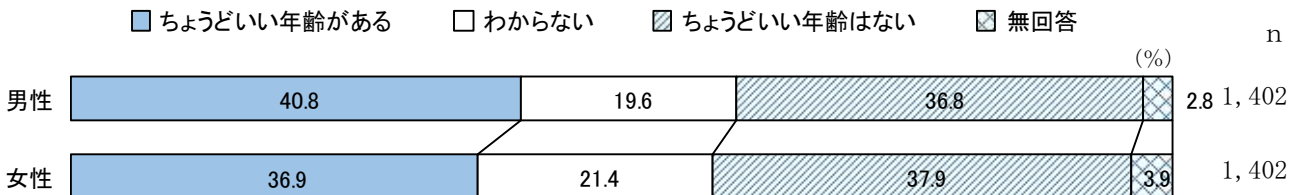
	男性	女性
結婚にちょうどいい年齢 (平均)	28.7 歳	26.6 歳

ウ. 学校教育を終えるちょうどいい年齢



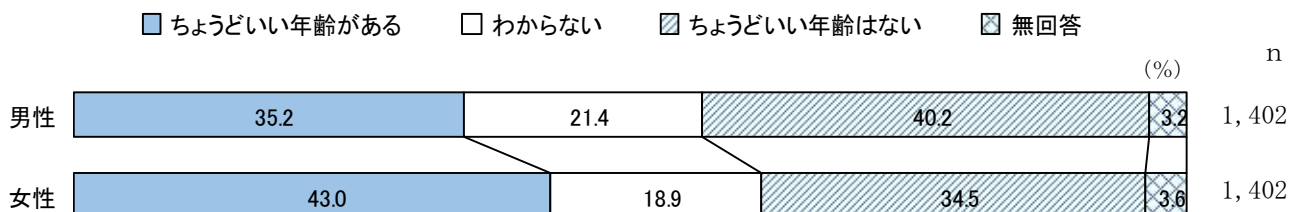
	男性	女性
学校教育を終えるちょうどいい年齢 (平均)	21.5 歳	21.2 歳

エ. 定職に就くちょうどいい年齢



	男性	女性
定職に就くちょうどいい年齢 (平均)	22.7 歳	22.3 歳

オ. 最初の子どもが生まれるちょうどいい年齢

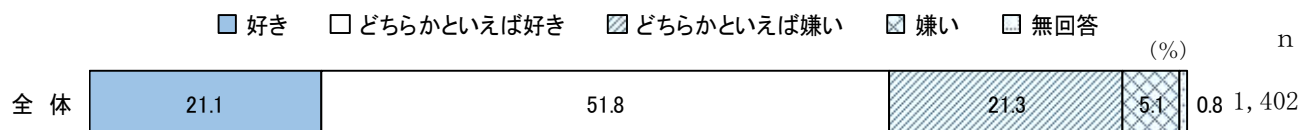


	男性	女性
最初の子どもが生まれるちょうどいい年齢 (平均)	29.5 歳	27.5 歳

自分のことが好きかについて【問44】

■自分のことが好きですか。(1つ)

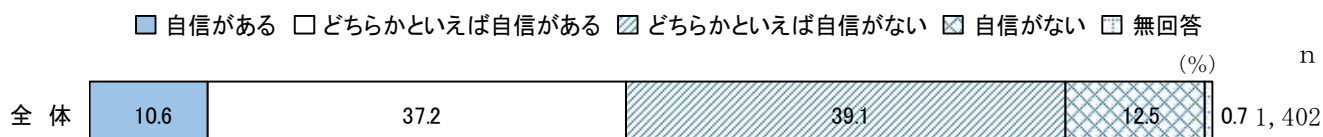
◇ 全体では、「どちらかといえば好き」が51.8%と最も多い。



自分に自信があるかについて【問45】

■自分に自信がありますか。(1つ)

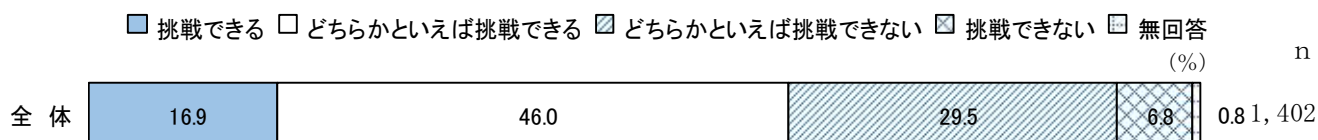
◇ 全体では、「どちらかといえば自信がない」が39.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば自信がある」が37.2%となっている。



いろいろなことに挑戦できるかについて【問46】

■色々なことに積極的に挑戦できますか。(1つ)

◇ 全体では、「どちらかといえば挑戦できる」が46.0%で最も多い。



『自己肯定感（問44～46）と自分の年齢（F2）』

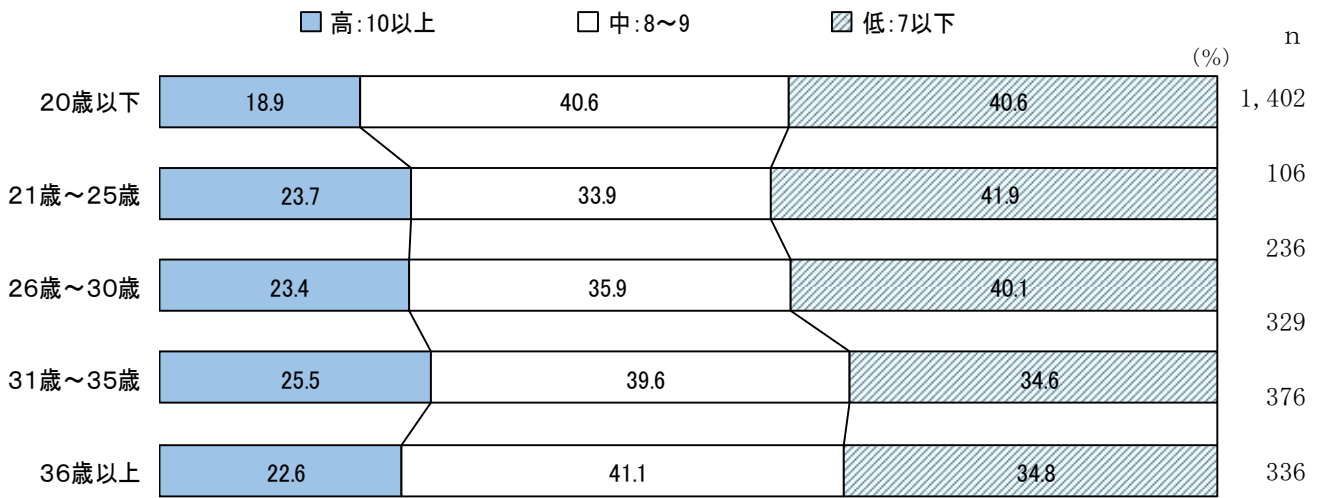
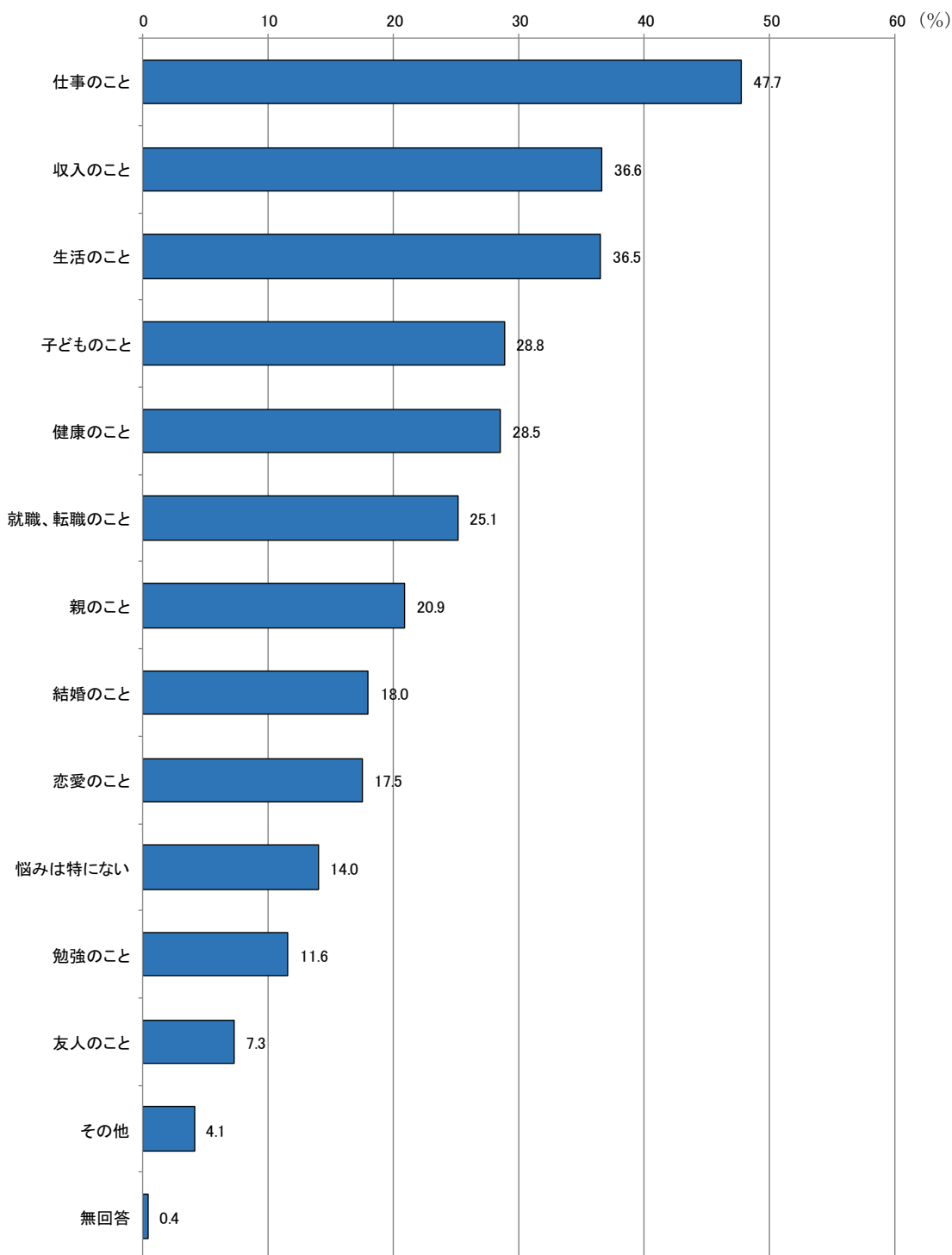


図 自己肯定感と自分の年齢

困っていることや悩んでいることについて 【問47】

■ 現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(複数回答)

◇ 「仕事のこと」が47.7%と最も多い。

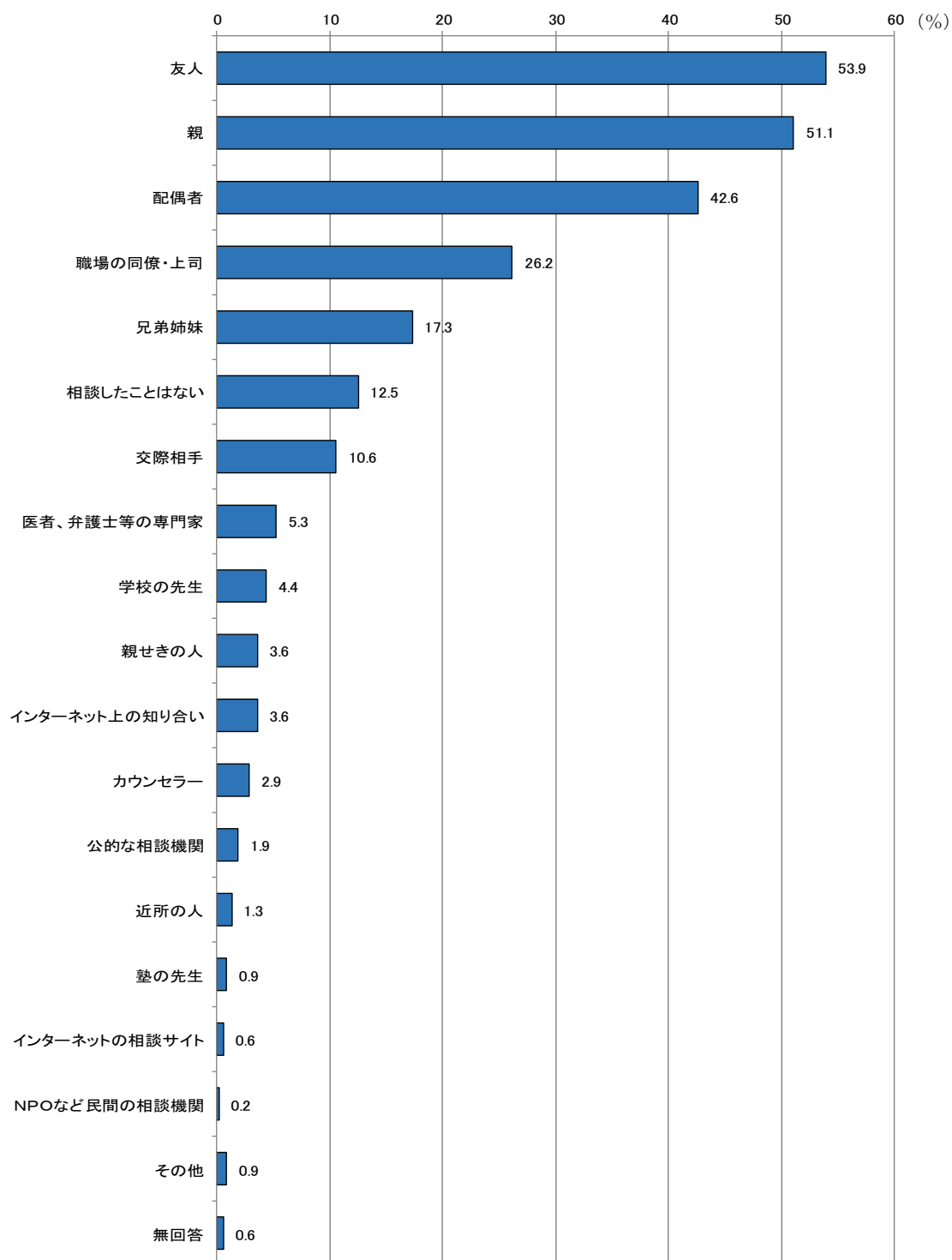


回答数 全体=4,164

困っていることや悩みを相談した相手について 【問48】

■過去1年くらいの間に、あなたが、困っていることや悩みを相談した人はいますか。
(複数回答)

◇「友人」が53.9%と最も多く、次いで「親」が51.1%、「配偶者」が42.6%となっている。

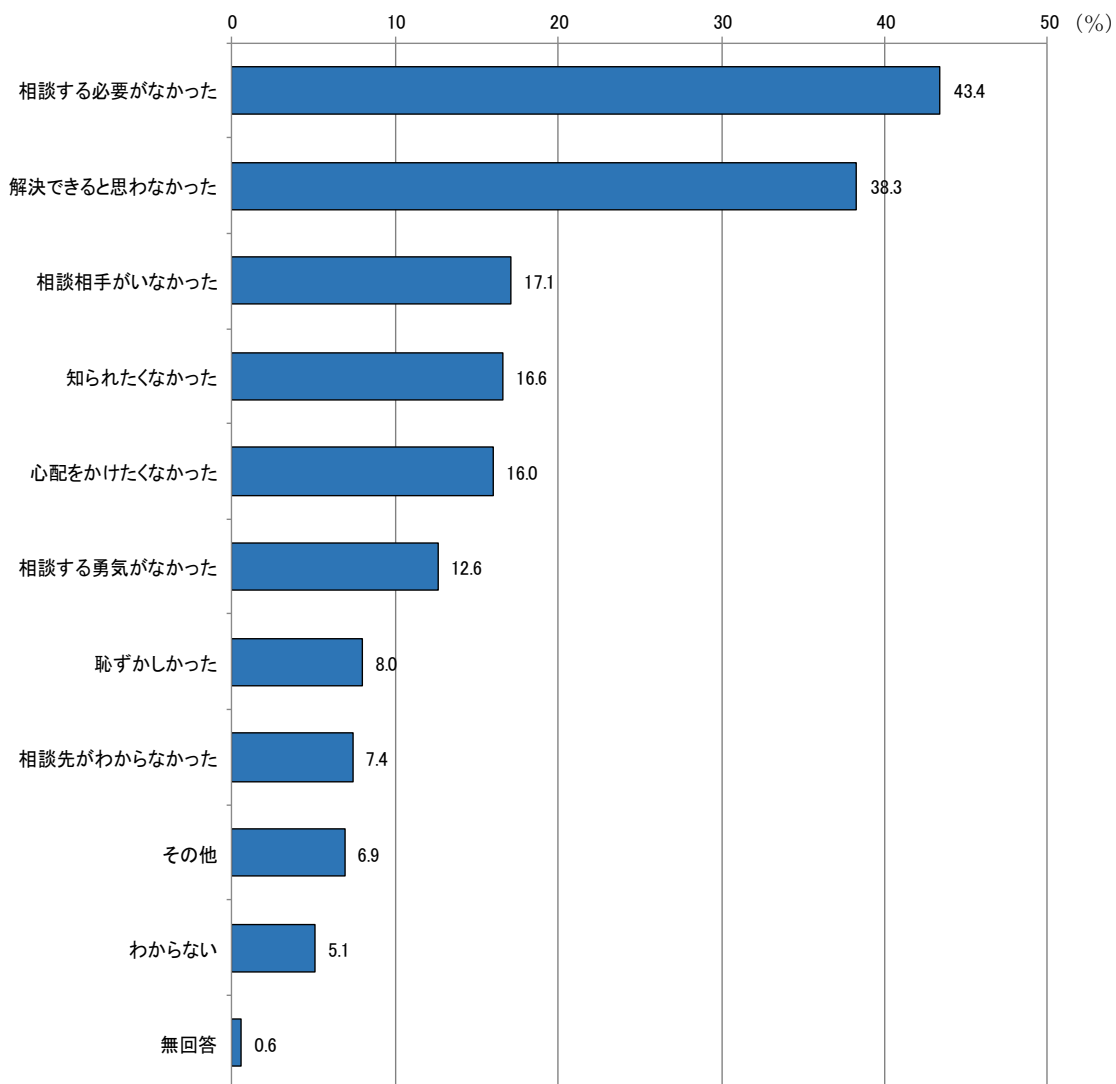


回答数 全体=3,371

困っていることや悩みを相談したことがない理由について 【問49】

■困っていることや悩みを相談しなかったのはなぜですか。(複数回答)

◇ 「相談する必要がなかった」が43.4%と最も多く、次いで「解決できると思わなかった」が38.3%となっている。

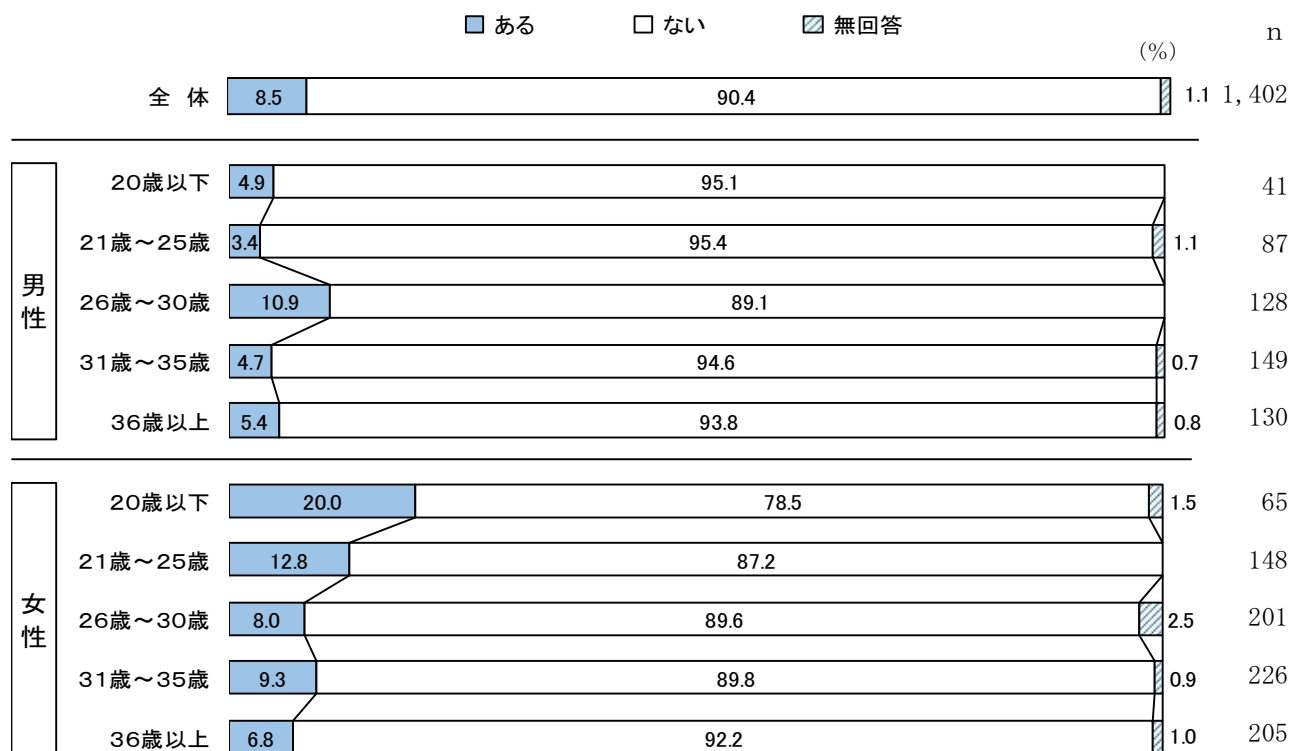


回答数 全体=301

自殺を試みたことがあるかについて 【問50】

■ これまで自殺を試みたことがありますか。(1つ)

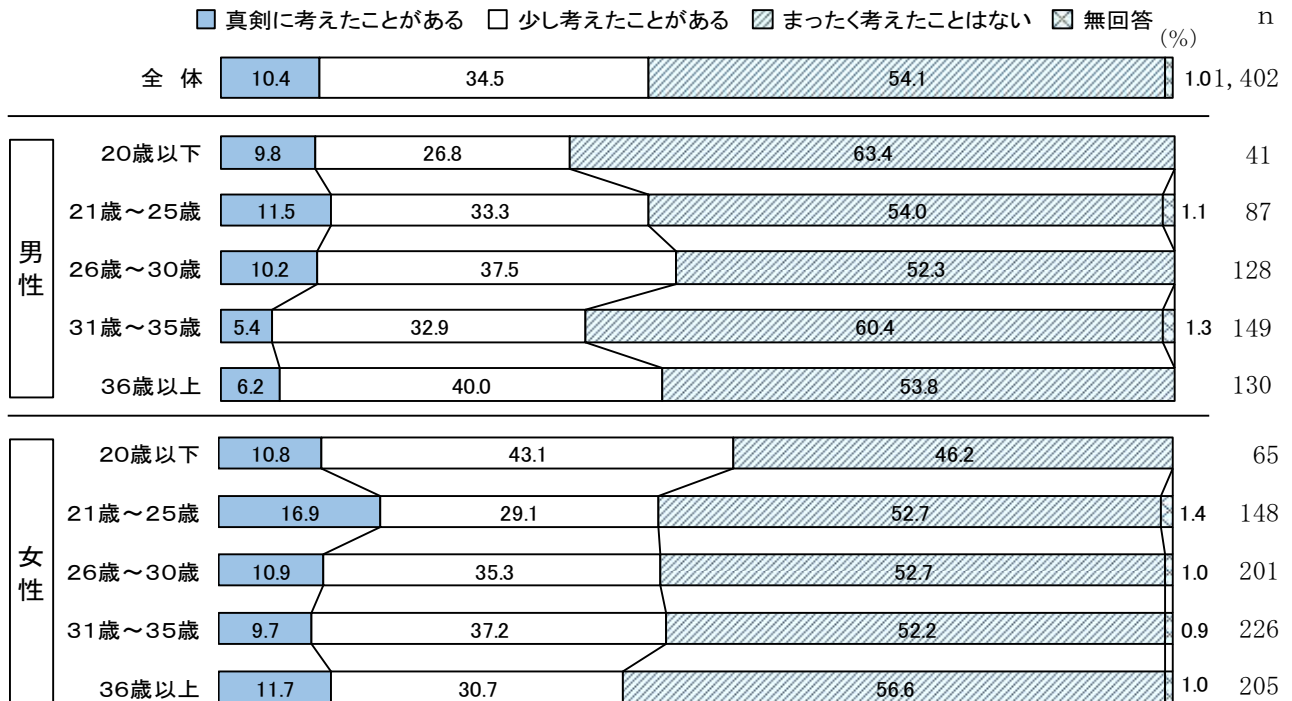
◇ 全体では、「ない」が90.4%、「ある」が8.5%となっている。



自殺を考えたことがあるかについて 【問51】

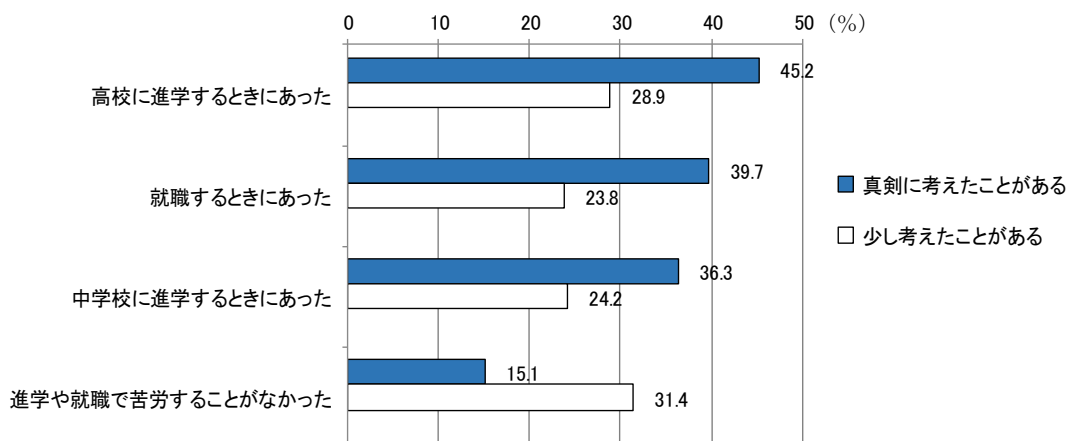
■これまで自殺を考えたことがありますか。

◇ 全体では、「まったく考えたことはない」が54.1%、「少し考えたことがある」が34.5%、「真剣に考えたことがある」が10.4%となっている。



『進学・就職をしたときに、スムーズに環境になじめないなど、苦労したことがありましたか (問36) と自殺を考えたことがあるか (問51)』

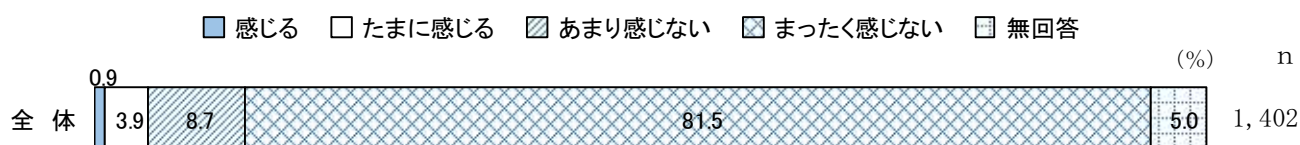
◎ 自殺を「真剣に考えたことがある」と答えた若者の割合は、「高校に進学するときにあった」が45.2%と最も高い。



身体の性と心の性の違いについて 【問5 2】

■ 身体の性と心の性が違っていると感じることはありませんか。(1つ)

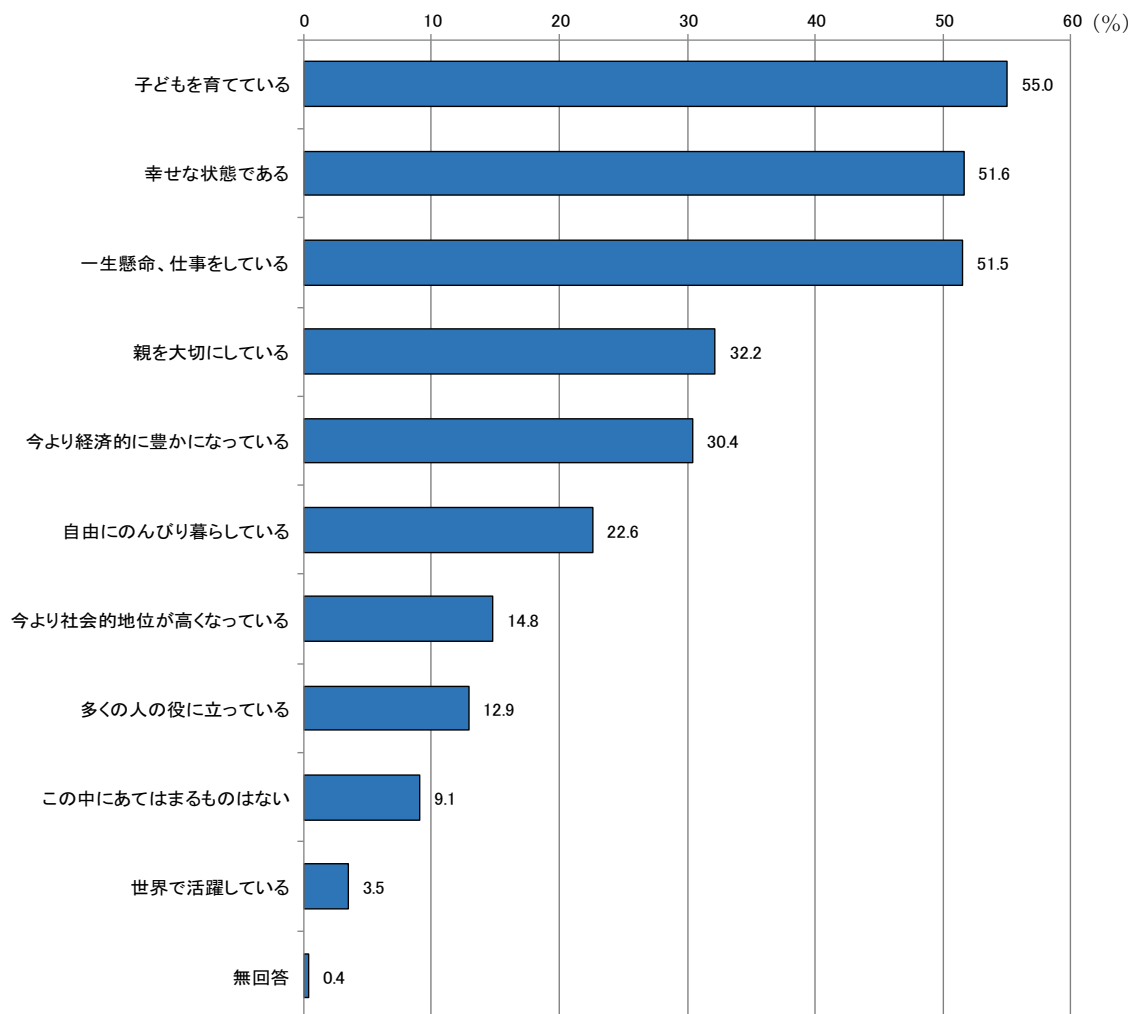
◇ 「たまに感じる」が3.9%、「感じる」が0.9%となっている。



5年後の自分のイメージについて 【問5 3】

■ 5年後の自分をどのようにイメージしていますか。(複数回答)

◇ 「子どもを育てている」が55.0%と最も多く、次いで「幸せな状態である」が51.6%、「一生懸命、仕事をしている」が51.5%となっている。

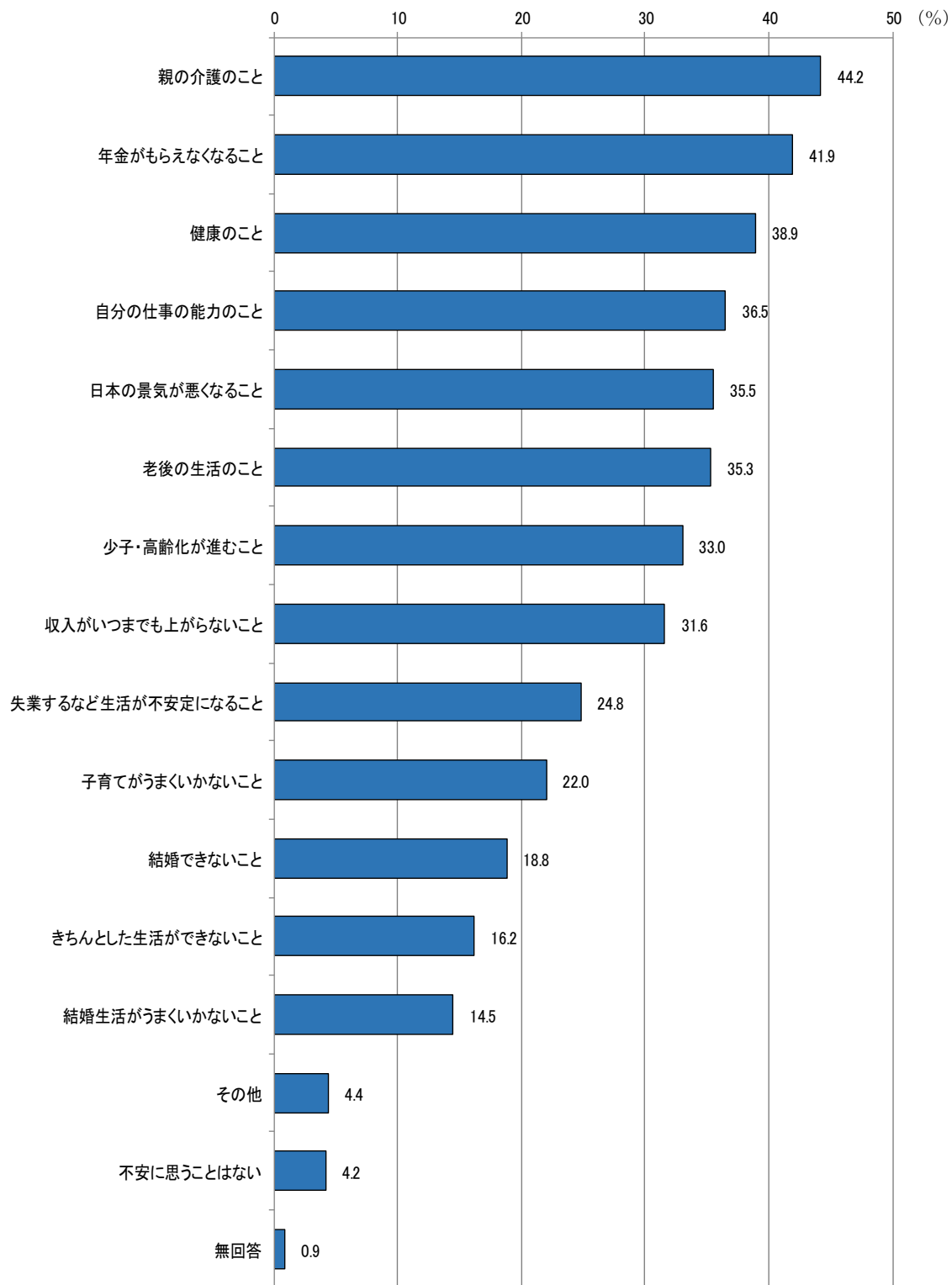


回答数 全体=3,982

将来の不安について 【問54】

■将来不安に思うことは何ですか。(複数回答)

◇ 「親の介護のこと」が44.2%と最も多く、次いで「年金がもらえなくなること」が41.9%となっている。

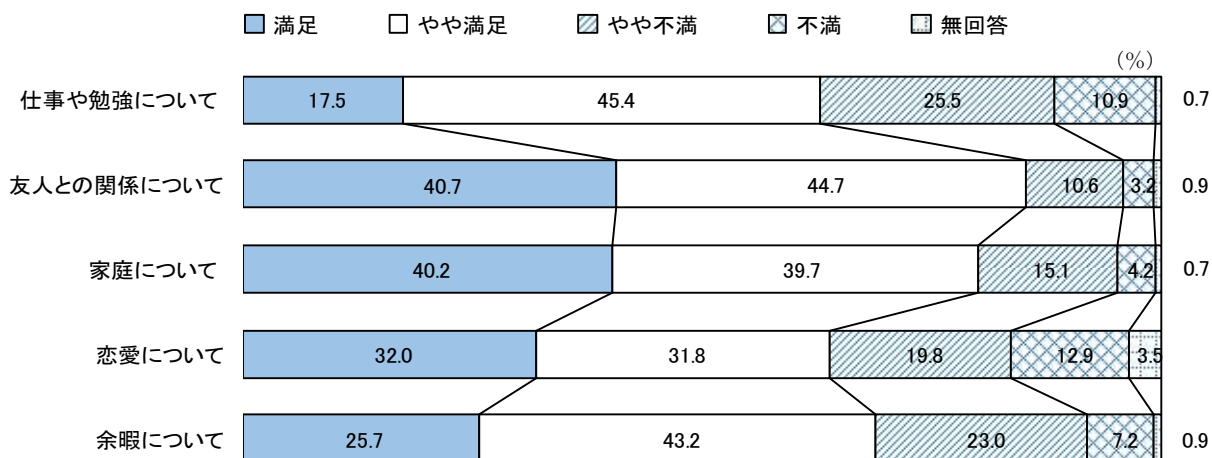


回答数 全体=5,646

今の生活に満足しているかについて 【問55】

■今の生活に満足していますか。(各1つ)

◇「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、「友人との関係について」が85.4%と最も多く、次いで「家庭について」が79.9%となっている。

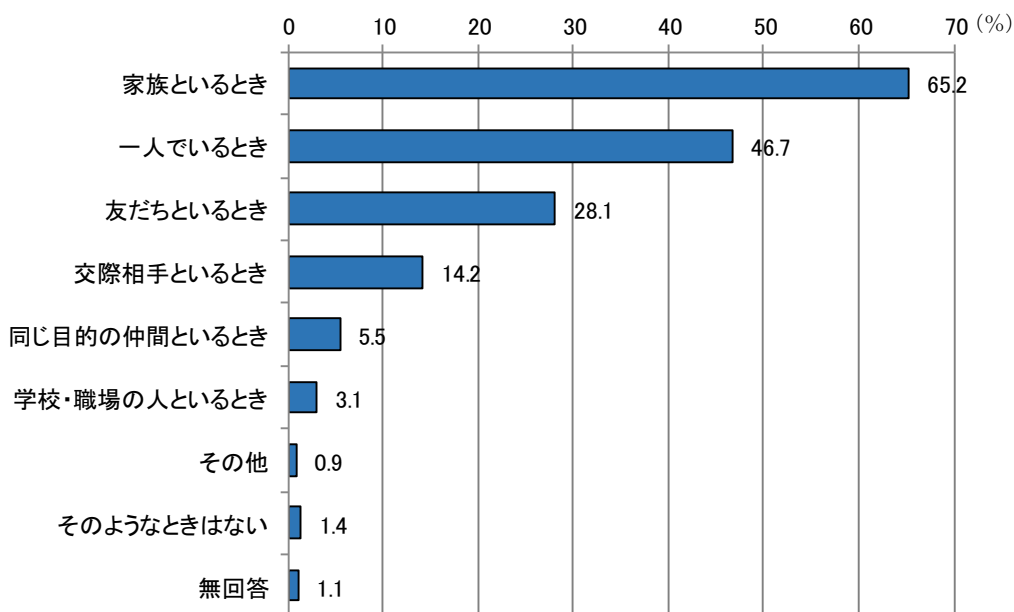


回答者数 全体=1,402

よろこびを感じる状況について 【問56】

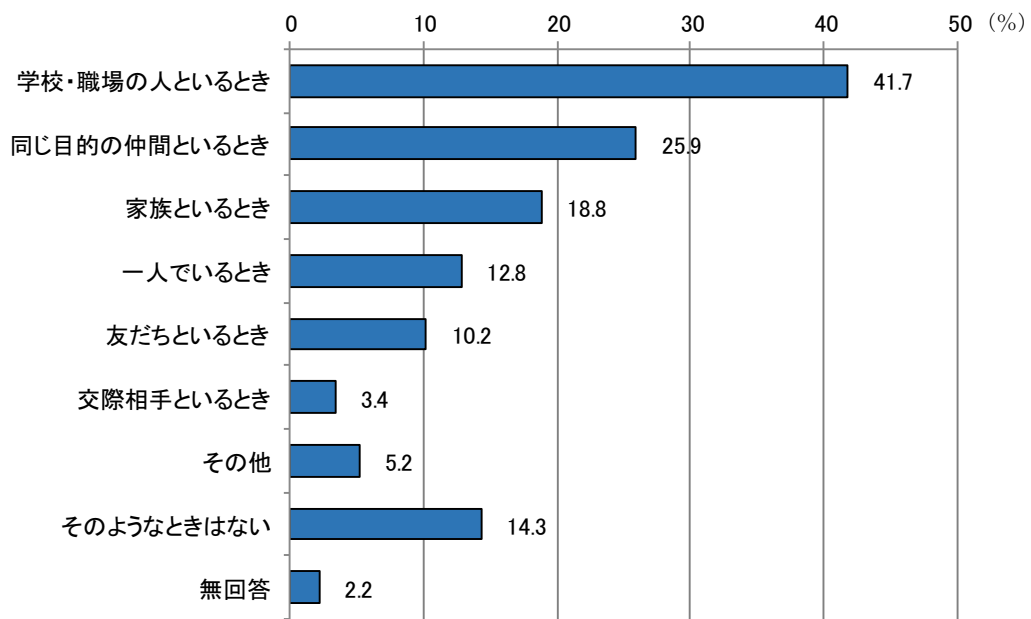
■次のア～ウのように感じるときは、どのようなときが多いですか。(各2つまで)

ア. ほっと感じるとき



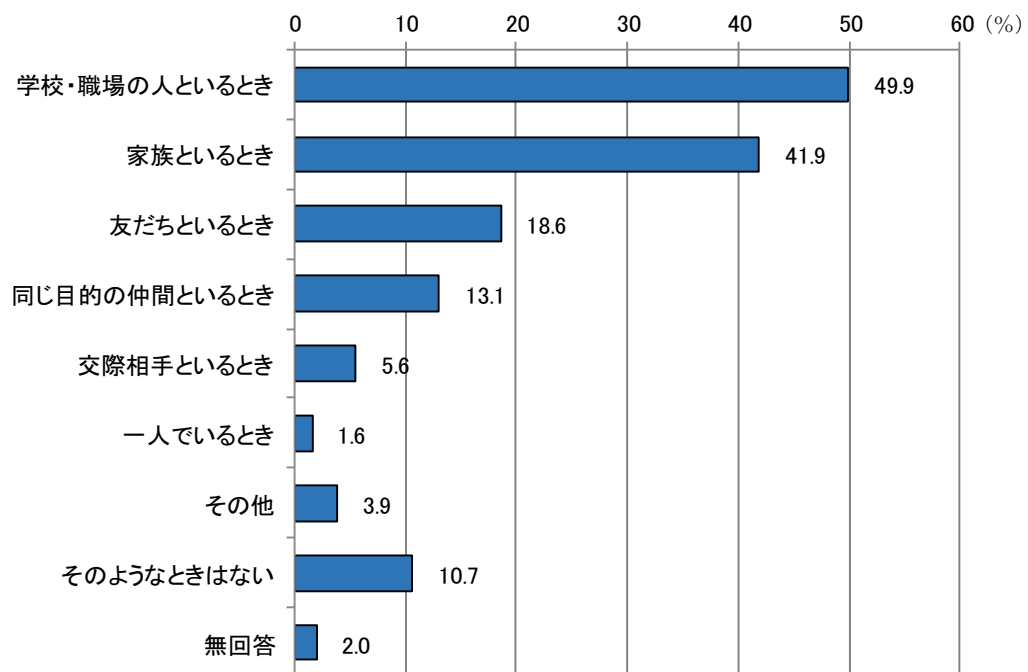
回答数 全体=2,329

イ. 達成感を感じる時



回答数 全体=1,885

ウ. 自分が役立っていると感じるとき



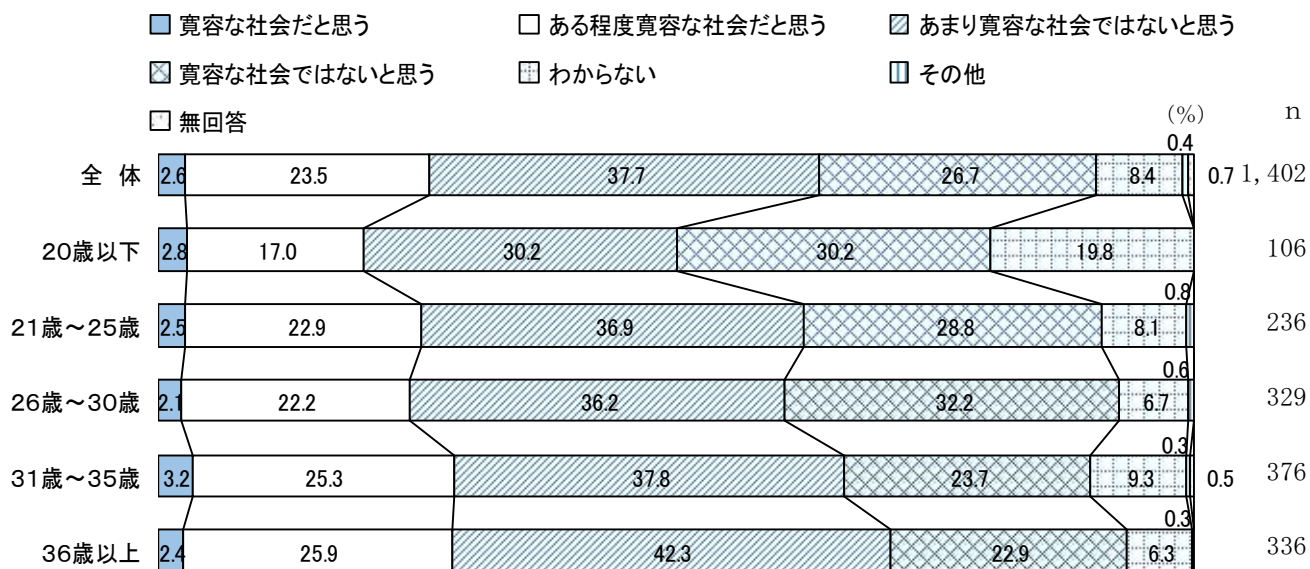
回答数 全体=2,063

～今の社会に対する考え方に関する質問～

今の日本社会の寛容性について（意見・立場） 【問57】

■今の日本の社会は、自分と意見や立場が異なる人を認める寛容な社会だと思いますか。（1つ）

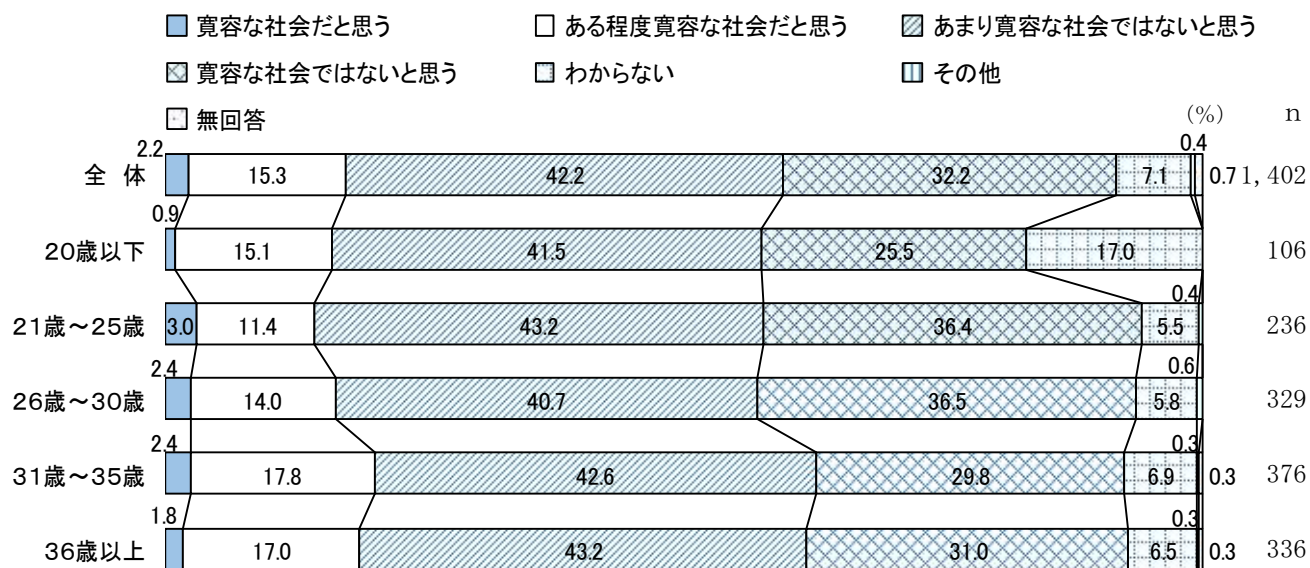
◇全体では、「あまり寛容な社会ではないと思う」が37.7%、次いで「寛容な社会ではないと思う」が26.7%、「ある程度寛容な社会だと思う」が23.5%である。



今の日本社会の寛容性について（過ち・欠点） 【問58】

■今の日本の社会は、他人の過ちや欠点を許せる寛容な社会だと思いますか。（1つ）

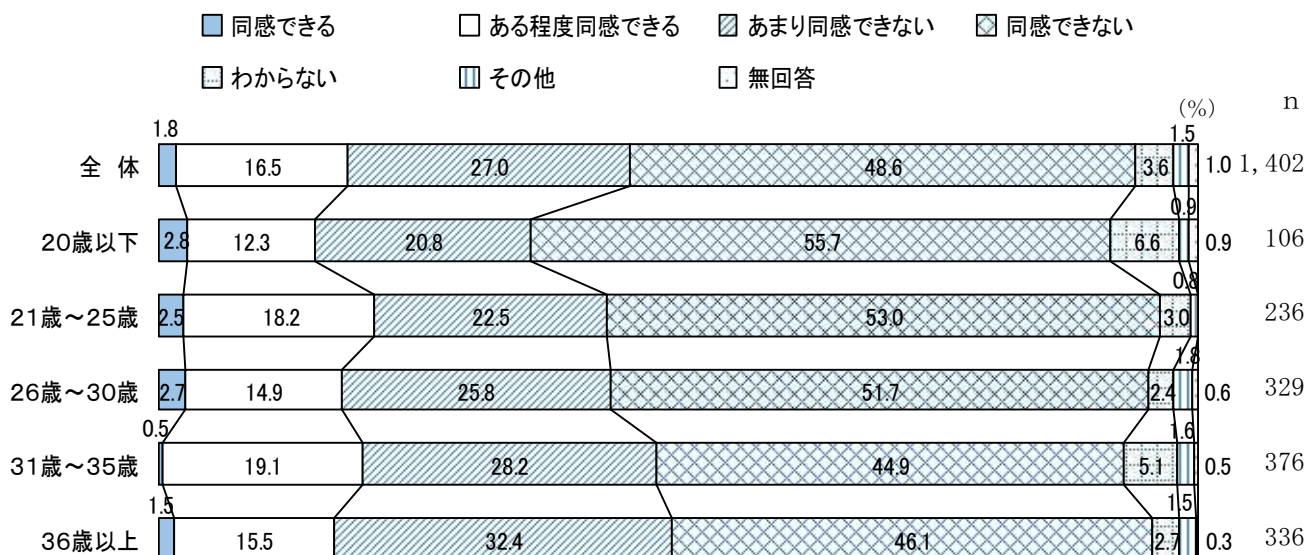
◇全体では、「あまり寛容な社会ではないと思う」が42.2%、次いで「寛容な社会ではないと思う」が32.2%、「ある程度寛容な社会だと思う」が15.3%である。



今の日本社会の寛容性について（子どもの声） 【問59】

■「子どもの声は騒音だから、近所に保育園ができるのは反対」という意見がありますが、この意見に対するあなたの考え方に一番近いもの。（1つ）

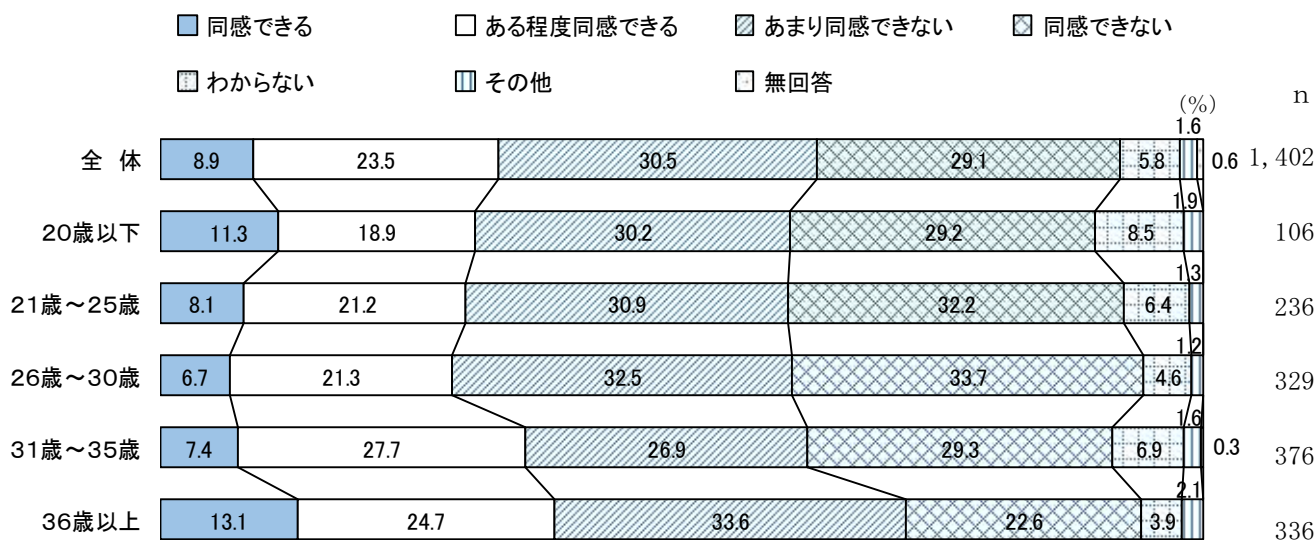
◇ 全体では、「同感できない」が48.6%、次いで「あまり同感できない」が27.0%、「ある程度同感できる」が16.5%である。



今の日本社会の寛容性について（SNS） 【問60】

■「大きな災害が起きたときに、ブログなどのインターネット上に、楽しそうな写真や文章を投稿することは不謹慎だ」という意見がありますが、この意見に対するあなたの考え方に一番近いもの。（1つ）

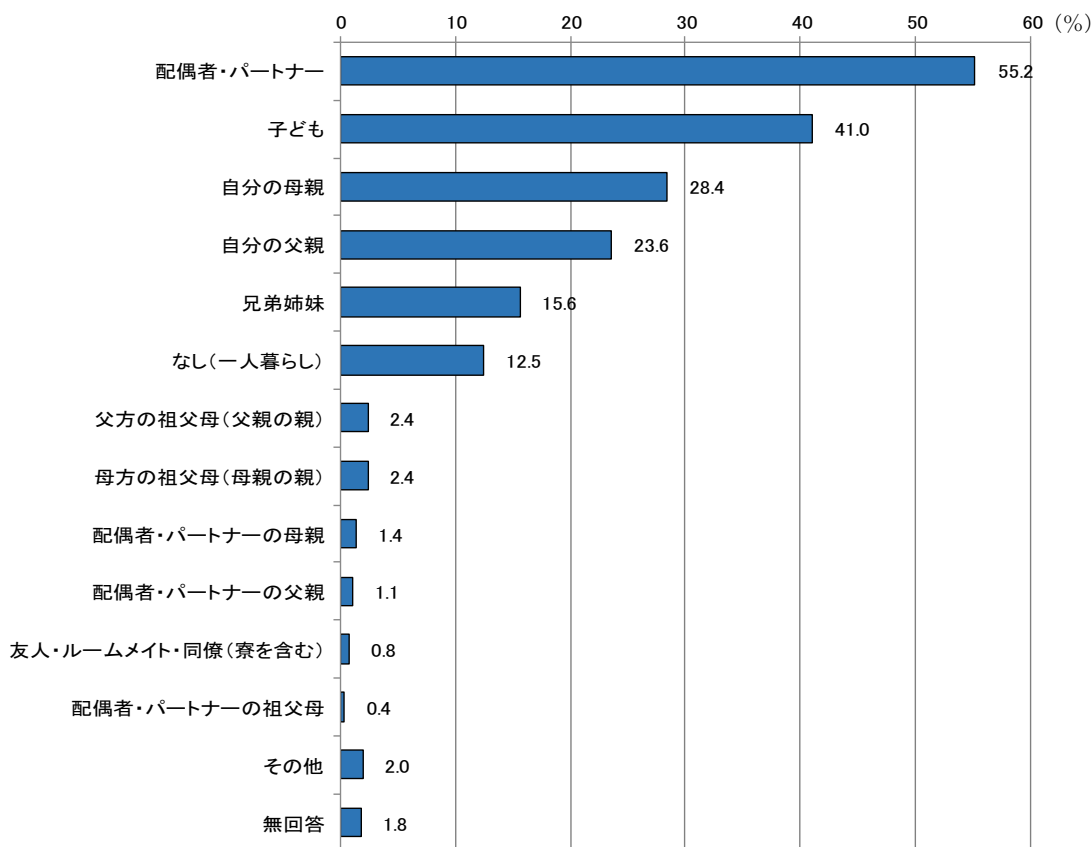
◇ 全体では、「あまり同感できない」が30.5%、次いで「同感できない」が29.1%、「ある程度同感できる」が23.5%である。



いっしょにお住まいの方について 【問64】

■現在、あなたといっしょにお住まいの方は誰ですか。(複数回答)

◇ 「配偶者・パートナー」が55.2%と最も多く、次いで「子ども」が41.0%である。



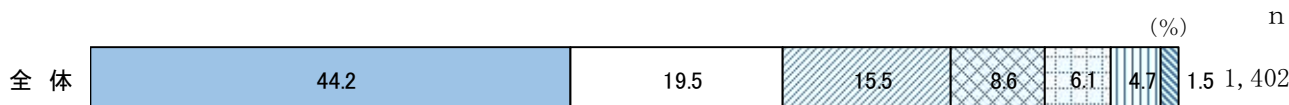
回答数 全体=2,645

お住まいの住居について 【問65】

■現在、お住まいの住居はどれですか。(1つ)

◇ 「貸家・賃貸マンション・賃貸アパート」が44.2%と最も多い。

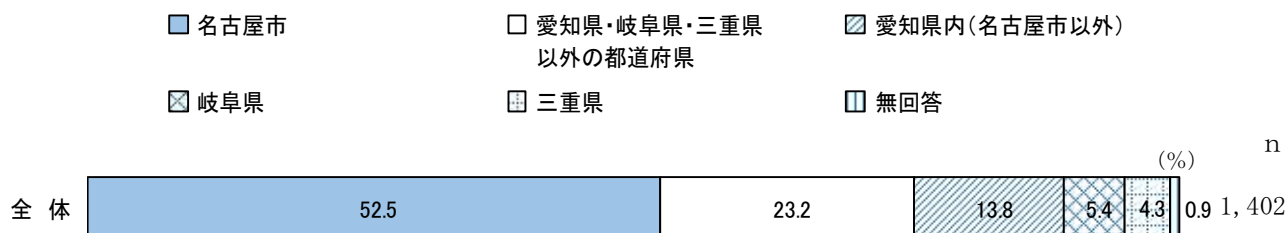
- 貸家・賃貸マンション・賃貸アパート
- 持ち家一戸建て(親名義)
- 持ち家一戸建て(自分か配偶者・パートナー名義)
- 持ち家マンション(自分か配偶者・パートナー名義)
- 持ち家マンション(親名義)
- 社宅・官舎・寮など
- その他
- 無回答



中学3年生の頃の住所について 【問67】

■ 中学3年生の頃、どこにお住まいでしたか。(1つ)

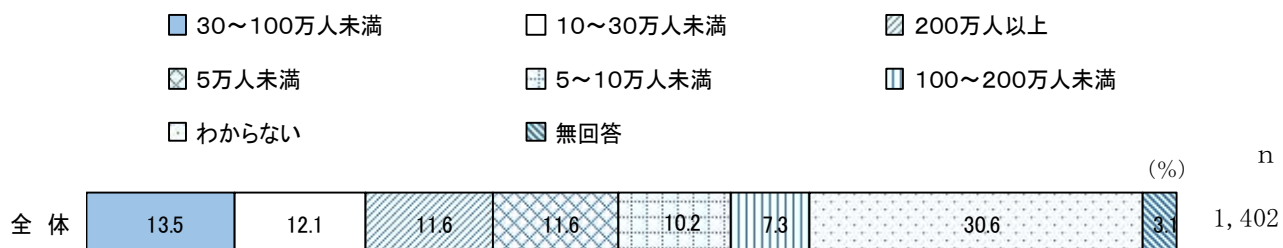
◇ 「名古屋市」が52.5%と最も多い。



住んでいた市町村の人口規模について 【問68】

■ 中学3年生の頃、住んでいた市町村の当時の人口規模はどのくらいでしたか。(1つ)

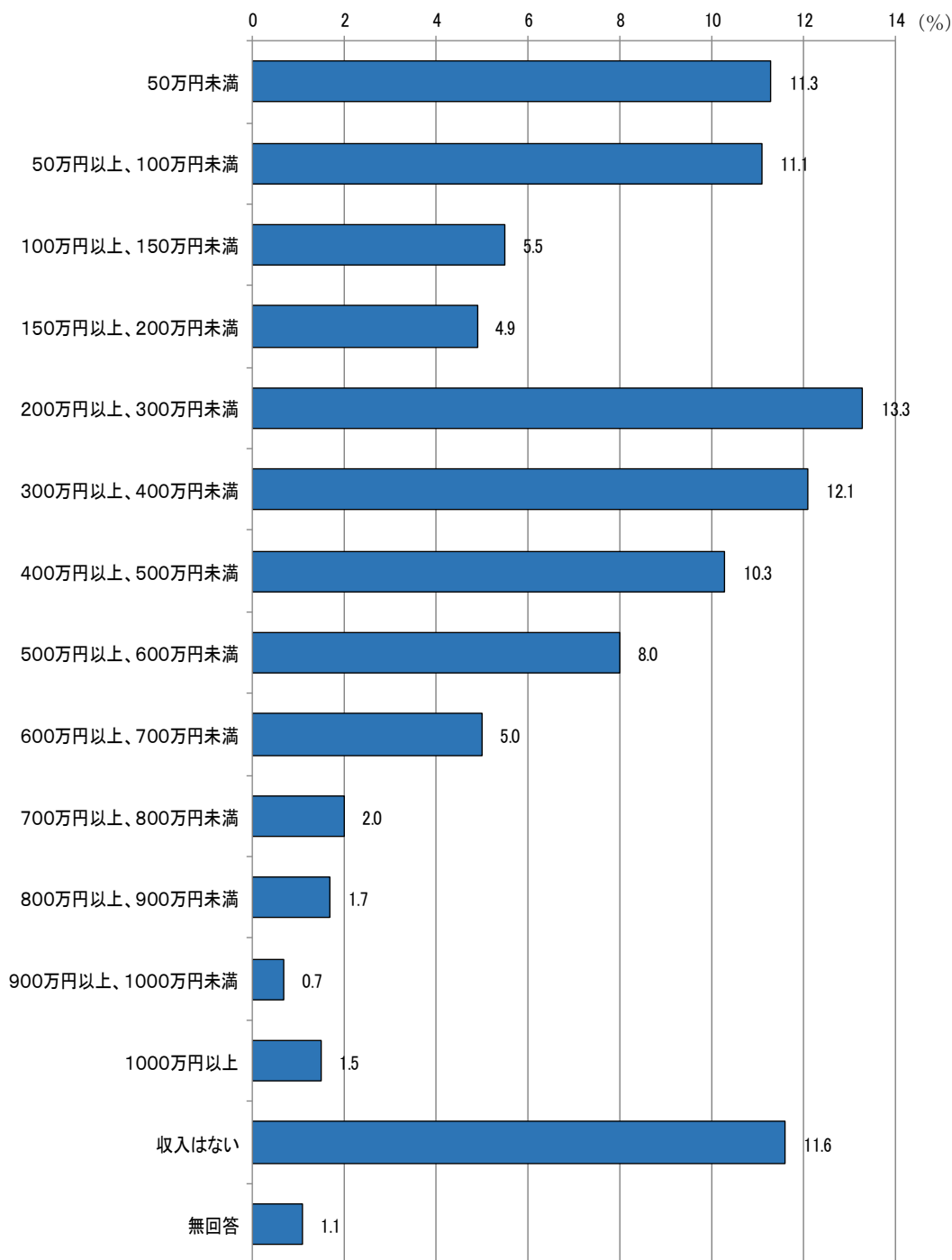
◇ 「わからない」を除くと、「30~100万人未満」が13.5%と最も多い。



あなた自身の年収について 【問69】

■この1年間の、あなた自身の年収（税込みの収入）は、だいたいどれくらいでしたか。
（1つ）

◇ 「200万円以上、300万円未満」が13.3%と最も多い。

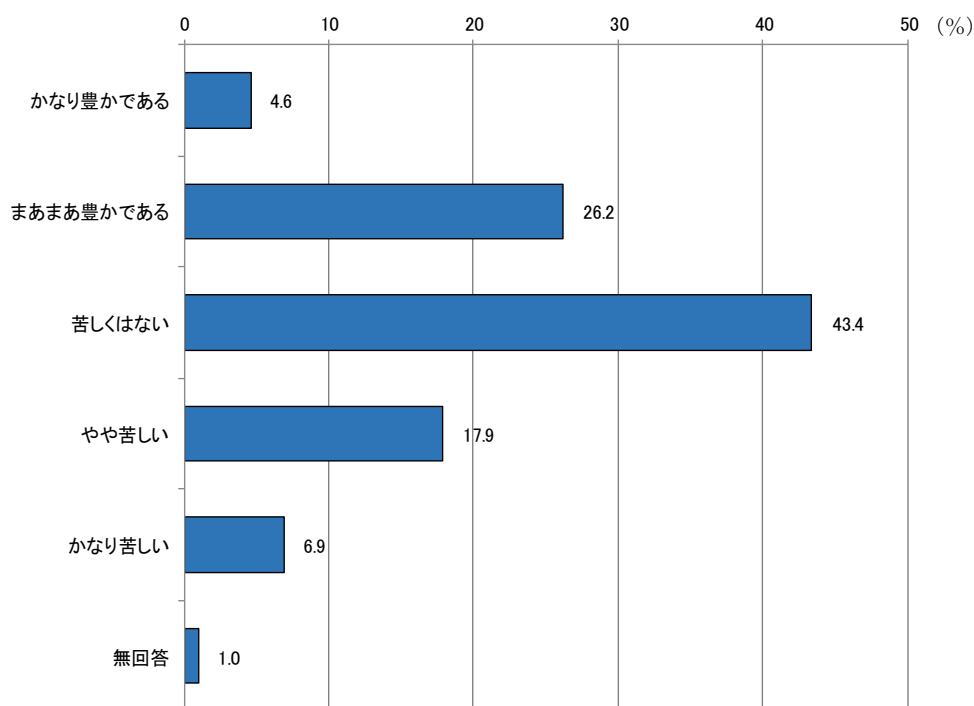


回答者数 全体=1,402

あなたの経済的な生活レベルについて 【問70】

■現在のあなたの経済的な生活レベルについて、どのように感じていますか。(1つ)

◇「苦しくはない」が43.4%と最も多い。



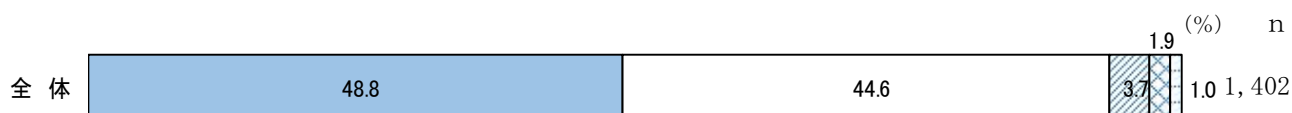
回答者数 全体=1,402

あなたの健康状態について 【問71】

■現在のあなたの健康状態はどうか。(1つ)

◇「健康」が48.8%と最も多く、次いで「注意する点はあるが、日常生活に支障はない」が44.6%となっている。

- 健康
- 注意する点はあるが、日常生活に支障はない
- 注意する点があり、日常生活に制限がある
- 病気がち・療養中
- 無回答

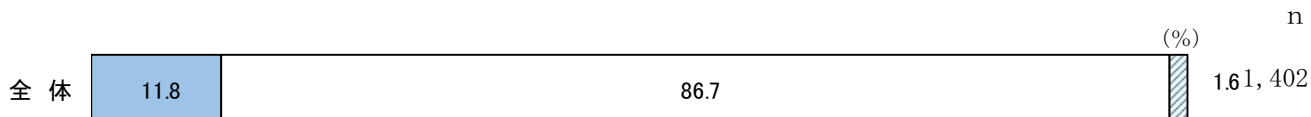


学校に行っているかについて 【問72】

■現在、学校に行っていますか。(1つ)

◇「学校に行っている(夜間中学や定時制高校、休学中を含む)」が11.8%、「学校に行っていない(卒業し、就職している場合を含む)」が86.7%となっている。

- 学校に行っている(夜間中学や定時制高校、休学中を含む)
- 学校に行っていない(卒業し、就職している場合を含む)
- 無回答



卒業した学校・通っている学校について 【問73】

■最後に卒業した学校、もしくは現在行っている学校は何ですか。(1つ)

◇「大学」が51.8%と最も多く、次いで「高等学校」が15.4%となっている。

- 中学校
- 高等学校
- 専門学校
- 短大・高専
- 大学
- 大学院
- その他
- 無回答



中学3年生の頃の成績について 【問74】

■中学3年生の頃の学校の成績はどうでしたか。(1つ)

◇「真ん中あたり」が28.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば上のほう」が25.6%となっている。

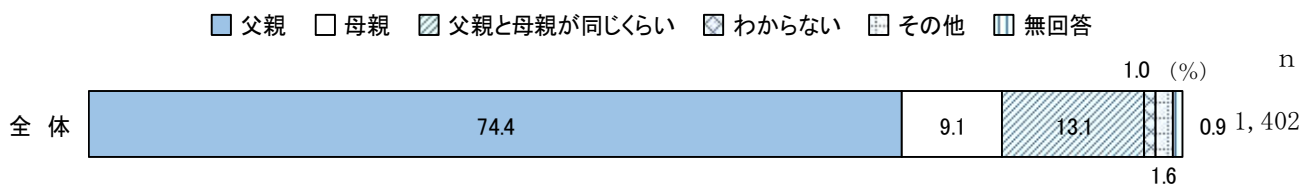
- 上のほう
- どちらかといえば上のほう
- 真ん中あたり
- どちらかといえば下のほう
- 下のほう
- わからない
- 無回答



中学3年生の頃のあなたの家庭について 【問75】

■ 中学3年生の頃のあなたの家庭について、経済的に家庭を支えていた方は誰でしたか。
(1つ)

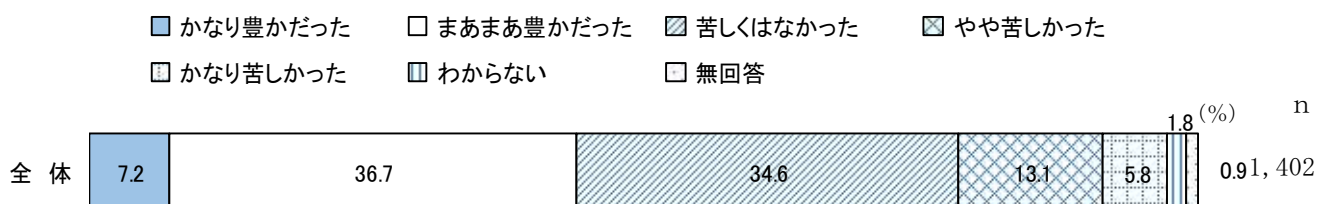
◇ 「父親」が74.4%と最も多く、次いで「父親と母親が同じくらい」が13.1%、「母親」が9.1%となっている。



中学3年生の頃の家庭の生活レベルについて 【問76】

■ 中学3年生の頃の「あなたの家庭の経済的な生活レベル」はどの程度だったと思われますか。(1つ)

◇ 「まあまあ豊かだった」が36.7%と最も多く、次いで「苦しくはなかった」が34.6%となっている。



～自由意見～

すべての若者がいきいきと自立した生活をおくれる社会になるために、必要だと思われることなどを自由にお書きください。

- ◇ 「政治に関すること、行政への要望」が 21.0%と最も多く、次いで「収入・税等に関すること」が 17.4%、「社会・地域に関すること」が 16.0%であった。

表 若者の意見の概要・件数

	件数 (件)	構成比 (%)
政治に関すること、行政への要望	118	21.0
家族、家庭に関すること	12	2.1
社会・地域に関すること	90	16.0
教育・学校に関すること	67	11.9
就職、企業、働き方に関すること	59	10.5
子ども・若者の成長に関すること	77	13.7
収入・税等に関すること	98	17.4
その他	41	7.3
合計	562	100.0

主な意見は、以下のとおりである。

(1) 政治に関すること、行政への要望 (118 件)

- ・国民から税金を集めているのだから、政府が頑張ってもらいたい。
- ・自主性を育て、自分から意見を言ったり行動出来るような環境を作ることが必要。特にそれが出来ない子に対してアプローチして欲しい。
- ・高齢者への支援も必要だと思いますが、今後の日本を支えていく子ども達、若者への支援を重視していくべきかと思います。
- ・アルバイト、正規雇用の給与の底上げ。奨学金制度の充実。
- ・不登校になった場合の早めの心のケアと、専門的な支援をしてくれる学校があるといいと思います。
- ・若者向けの政策の実行、周知。若者に政治に対して、また行政に対して当事者意識を持って貰う為の活動。
- ・将来に希望が持てる社会になるような制度作り(年金等)
- ・生活に格差が出ないような保障や制度を整えるべきだと思う。
- ・保育士や、幼稚園教諭の収入が仕事内容と見合っていないので、そこを改善し自立した生活が送れるようにしていただきたいです。

(2) 家族、家庭に関すること (12 件)

- ・若者を育てる保護者の教育
- ・自尊心を高められる生活環境を家庭で提供すること。インターネットに依存しない人間関係の構築能力の向上。
- ・親と社会からの躰。常識、ルールを理解させること。自分で考えることが出来る人

- 間になること。他人は自分と違うモノだと理解させること。
- ・親の愛情と周りの人間が子供の意見を聞いてあげられること。

(3) 社会・地域に関すること (90 件)

- ・社会全体で子育てをする意識。
- ・税金、介護、子育て、年金、今の若者には負担がとても大きい気がします。もっと負担を減らせとは言いませんが、これならやろうと思える社会にしてほしいです。
- ・ちゃんと叱れる大人が必要だと思います。
- ・子育て中や病気や障害があっても、個々に応じて柔軟に社会に出られるような、チャンスの多い社会作り。また絶対数の多い高齢者の声に耳を傾けるのではなく、少数派であり社会を支える若者の声に耳を傾けて実現させる社会作り。
- ・もっとお互いに対して寛容な世の中になって欲しい。
- ・色々なことに挑戦できる環境が大事だと思う。

(4) 教育・学校に関すること (67 件)

- ・学校教育では、社会で役にたつことを教えてもらいたい。英語教育、税制度、世の中の仕組みを詳しく低年齢から教えて行くべき。
- ・高校・大学 学費無料化
- ・給付型奨学金制度の充実、申込資格の緩和
- ・個々の能力が発揮できる教育の機会を提供すること。大人になって、社会貢献することが進んでできる風潮を創り出すこと。
- ・全ての授業のデジタル化。
- ・経済的に大変な家庭の子供でも、学べる場が選択できる社会になって欲しい。

(5) 就職、企業、働き方に関すること (59 件)

- ・一人一人のライフスタイルを尊重する。
- ・大企業だけでなく中小企業の賃上げにも積極的に取り組む。
- ・正規雇用の拡大。福利厚生充実。
- ・まず将来の生活への不安をなくすことが重要。雇用の問題、子供の養育の問題の解決が必須。
- ・各個人の生活に合ったフレキシブルな働く環境が必要だと思う
- ・働き方改革の徹底。

(6) 子ども・若者の成長に関すること (77 件)

- ・自分自身について、生い立ちや特徴をとことん知ること。またその時に必要であれば、親ともとことんぶつかること。
- ・SNS を活用して、若者の意見を気軽に述べたり、質問ができる場が増えたら良いと思う。
- ・本を読む習慣を子供の頃につける。
- ・乳幼児期や児童期から親や周りの人との関わりが大切だと思う。自分のいいところを知り、自分に自信を持ち自立するためには自分を認めてくれる人との出会いが大切だと思う。

- ・お互いを尊重し、思いやる心を持つこと。
- ・経済的な支援を与えるばかりではなく、自分から意見を述べたり、自発的に物事に取り組む機会を増やすことが必要だと感じる。

(7) 収入・税等に関すること (98 件)

- ・お金の心配が無い社会づくり。
- ・将来年金が貰えるのか不安。現在、年金を貰ってる人の金額が高すぎるので減らすべき。税金が高い為に手取りが少なく、余裕のある生活が出来ない。
- ・ベーシックインカムを導入。非正規雇用者への待遇改善。
- ・若者がいきいきと自立した生活を送るには、経済的な余裕や、自分のために使える時間的余裕が必要。
- ・給料上げてください。もっと女性が働きやすい社会にして欲しい。
- ・収入への不安の解消、結婚や育児に対しての金銭面での不安の解消。

(8) その他 (41 件)

- ・いきいきとはなにか、若者と他者の自立が意味するものは違うのか、この質問自体に疑問を感じます。
- ・特にありません
- ・このようなアンケートが役に立って、すべての若者や子どもがいきいきと暮らせることを願っています。